英語学論説資料収録論文一覧 第47号(2013年分)

第 1 分冊 言語学英語学一般・音韻論・比較研究

言語学英語学一般(GENERAL STUDIES)

言語へのバフチンの基本的視線	西口光一	大阪大学国際教育交流センター研究論集 多文化社 会と留学生交流 17 (13.3)	
E.サピア『言語』(1921)の言語史原理(前篇) ―「第9章 言語はどのように相互影響 しあうか」解読―	三 輪 伸 春	鹿児島大学大学院 地域政策科学研究 10 (13.3)	!
フレイジオロジーと実証性	八 木 克 正	関西学院大学 社会学部紀要 116 (13.3)	1
データに基づく実証的研究と英語研究の新展開 一語から文へ一	土屋知洋	岐阜工業高等専門学校紀要 47 (11.3)	20
Controlling Influence or Linguistic Default: Exploring the Hegemony of the English Language	Nicholas DOMJANCIC	京都産業大学論集 人文科学系列 46 (13.3)	**
国際共通語としての英語(English as Lingua Franca):定義の再考	眞 砂 薫	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 4-1 (13.7)	29
Recurrent Token in Interaction: Grammar Emerges from Dialogic Resonance	Yoshihito IZAWA	慶應義塾大學 藝文研究 104 (13.6)	3
Grammatica una et eadem est secundum substantiam in omnibus linguis, licet accidentaliter varietur: —Reflections on Universal Grammar and the importance, or otherwise, of Language Diversity—	Nigel Duffield	甲南大学紀要 文学編 163 (13.3)	4
同時バイリンガル幼児の語 彙 習得初期における語彙表出	岩 井 麻 紀	神戸英語教育学会 KELT 28 (13.1)	50
断片から節へ 一動的文法論からの考察一	現影秀昭	埼玉学園大学紀要 人間学部篇 13 (13.12)	5
英語学のルーツおよび英文学との関係について	下 永 裕 基	サウンディングズ英語英米文学会 SOUNDINGS 39 (13.12)	6
ノーム・チョムスキー:その言語理論と政治思想をめぐって	長谷川 宏	専修大学人文科学研究所 人文科学年報 42 (12.3)	7
Svartvikとその時代 —Jan Svartvik回顧録にみる20世紀後期言語研究—	大 森 裕 實	中部応用言語学研究会 言語研究と英語教育 10 (13.3)	8'

(47-1)

日本の英語学界 一現状、課題、未来	野 村 忠 央	日本英語英文学会 日本英語英文学 23 (13.12)	110
生成文法と人間言語の「多様性」	福 井 直 樹	日本エドワード・サピア協会研究年報 27 (13.3)	126
音 韻 論 (PHONOLOGY)			
自 與 論 (PHONOLOGY)			
Age and Length of Exposure to English and L1 Japanese Speakers' Ability to Discriminate Between the Spoken English /l/ and /r/ Phonemes	Munehiko MIYATA	茨城大学人文学部 人文コミュニケーション学科論 集 14 (13.3)	138
アーネスト・サトウ『会話篇』PartⅡ 訳注稿(補遺)	櫻井豪人	茨城大学人文学部 人文コミュニケーション学科論 集 14 (13.3)	146
An Acoustic Study on the Durational Correlates of Stress in Welsh English	MARINA ARASHIRO	岩崎研究会 LEXICON 43 (13.6)	156
英語音声の聴解判断における日本語母語の影響	犬 塚 博 彦	岩手大学英語教育論集 14 (12.3)	167
楽譜中の英語発音推定入門 一楽譜の中の英語発音を探る―	籾 山 陽 子	大阪大谷大学 英語英文学研究 40 (13.3)	171
Spoken Englishの強調形式について	澤田茂保	金沢大学 言語文化論叢 16 (12.3)	182
英語のリズムにおけるフットの等時性 ―等時性仮説の真偽検証―	大高博美神谷厚徳	関西学院大学 言語と文化 16 (13.3)	194
「収斂」から「拡散」へ ―Wilfred Owen, 'Futility'の音を読む	豊田昌倫	京大英文学会 ALBION 59 (13.11)	198
17世紀の音声学者による鼻子音の分類と記述	熊田和典	埼玉学園大学紀要 人間学部篇 12 (12.12)	210
強勢拍リズム習得に対するパラレルリーディングの効果 一習熟度別3群の比較を通して—	川井一枝	桜の聖母短期大学 紀要 37 (13.3)	217
音韻的符号化部門の単位と言語産出モデル	寺 尾 康	静岡県立大学 ことばと文化 16 (13.2)	224
『グレート・ギャッツビー』の言語 ―音韻構造を中心として	長 瀬 恵 美	就実大学英文学会 就実英学論集 29 (13.1)	235
中学生への英語の音声指導の問題点 一中学校英語教科書を中心に一	安 部 肇 子	シルフェ英語英米文学会 シルフェ 52 (13.2)	250
日英の二重母音比較論	加曽利 実	聖学院大学論叢 26-1 (13.10)	258
英語の連結音の共時的・通時的研究	藤原保明	聖徳大学 研究紀要 児童学部 人文学部 人間栄養学部 音楽学部 22 (12.3)	264

長谷川 欣 佑 獨協大学英語研究 72 (13.3)

言語理論の経験的基盤IV

スコットランド英語母音の地域変異 ―現地録音と音響ダイアグラムに基づく考察―	三 浦 弘	専修大学学会 専修人文論集 93 (13.10)	268
Is Perception of Syllable Duration Language Specific?	Tamami KATAYAMA	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 10 (13.3)	279
A Suprasegmental Threshold for L2 Pronunciation	Tamami Katayama	大学英語教育学会北海道支部 Research Bulletin of English Teaching 7 (10.3)	285
Frequency and Other Effects on Diatonic Stress Shift	Ryuichi HOTTA	中央大学 人文研紀要 75 (13.10)	297
個別観察を通した母語獲得過程について 一弱い連続性仮説は日本語に当てはまるか、 Kの観察から一	根本貴行	東京家政大学人文学部 英語英文学研究 19 (13.10)	310
英語/1/の母音化と音声指導上の問題について	今 仲 昌 宏	東京成徳大学研究紀要 人文学部・応用心理学部 20 (13.3)	318
Sylvia PlathのThe Bed Bookにおける韻律	田中美和	東京電機大学 総合文化研究 10 (12.12)	325
ラテン語の音表象	森田信也	東洋大学 経済論集 37-2 (12.3)	328
The role of verse and song in attuning learners to English phonemes and prosody: Implications for the development of reading skills	Meredith Stephens	徳島大学 HYPERION 59 (13.3)	333
英語のリサイタルコンテストのための発音指導	クリストファー ・ポンド	徳島大学 大学教育研究ジャーナル 10 (13.3)	338
Coaching Pronunciation: Preparing a Japanese student for an English recitation contest	Christopher Pond	徳島文理大学研究紀要 85 (13.3)	344
F0, EMG and Tonogensis in Thai	Donna Erickson Arthur S. Abramson	名古屋学院大学論集 言語・文化篇 24-2 (13.3)	***
PHONOLOGICAL ADJACENCY AS A TRIGGER OF MOVEMENT	HIROKO KIMURA	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-2 (13. 12)	**
日本語母語話者における英語の熟達化と中国語母語話者における日本語の熟達化が英単 語音声分節化に及ぼす影響	水 口 啓 吾 通 湯 澤 思 郷	日本教育心理学会 教育心理学研究 61-1 (13.3)	349
Perception of American English "can" and "can't" by Japanese professional interpreters	Kinuko TAKAHASHI Tomohiko OOIGAWA	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 12 (12.12)	355
英語教育における「音声学」	新井良夫	藤女子大学 文学部紀要 50 (13.2)	362
(47–1)		3

田 中 邦 佳 川 﨑 貴 子 鈴 木 大 河	法政大学英文学会 英文学誌 55 (13.3)	373
高橋順 一	北海道文教大学論集 14 (13.3)	377
Hiroko Umeda	武蔵野学院大学大学院研究紀要 6 (13.4)	385
Yukio Takahashi	盛岡大学 比較文化研究年報 23 (13.3)	394
JOHN D. PHILLPS	山口大学 文学会志 63 (13.2)	404
Gudrun Gräwe	立命館法學 別冊 竹冶進教授退職記念論集 (13.3)	417
KADOOKA Ken-ichi	龍谷大学 龍谷紀要 34-2 (13.3)	433
中道嘉彦	麗澤大学英米文化研究会 麗澤レヴュー 19 (13.6)	441
Rossa Ō MUIREARTAIGH	愛知県立大学外国語学部 MULBERRY 61 (12.3)	448
Yoshiharu KUMAGAI	愛知県立大学外国語学部 MULBERRY 62 (13.3)	453
歳岡冴香	大阪大学言語文化学会 言語文化学 22 (13.3)	462
45	岡山理科大学紀要 49R 人文・社会科学 (13 12)	469
们 平	阿内里 100 人人 正五十 1 (10.12)	100
林文慧	金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編 11 (13.3)	475
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編 11	
	III 崎木 貴子河高 橋 順 一 Hiroko Umeda Yukio Takahashi JOHN D. PHILLPS Gudrun Gräwe KADOOKA Ken-ichi 中 道 嘉 彦 Rossa Ō MUIREARTAIGH Yoshiharu KUMAGAI 歳 岡 冴 香	所

A Communicative Translation Approach to Chinese-English Translation of Public Signs	Wang Jing-jing	九州大学大学院 比較社会文化研究 31 (12.3)	504
ルーマニア語動詞alerga, fugi, curge, couduceと英語動詞runとの概念比較研究 一認知言語学と言語文化のインターフェイス―	森山智浩	近畿大学文芸学部論集 文学・芸術・文化 24-1 (12.9)	512
英独仏対照言語学:言語変種の特性に依る個別言語の性格づけ	大 月 実	言語研究学会 言語の世界 31-1・2 (13.12)	536
なぜこう訳されているのか(1) 一村上春樹を英語で読む(2-1)―	塩 濵 久 雄	神戸山手大学紀要 14 (12.12)	542
モダリティ表現の日英語対照研究(3) 日本語の能力・可能表現とCAN/COULDの対応	高 橋 正	創価大学英文学会 英語英文学研究 69 (11.9)	548
Theorizing About Translation and Translation Studies	Mukesh Williams	創価大学英文学会 英語英文学研究 70 (12.3)	564
モダリティ表現の日英語対照研究(6) 可能性を表すcan/couldはどのような日本語表現と対応しているか?	高 橋 正	創価大学英文学会 英語英文学研究 72 (13.3)	580
「日本文化」は英語でどう表現できるか? 一日本文学の翻訳を通しての一考察―	堀 部 秀 雄	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 9 (12.2)	592
英語、ドイツ語、フランス語における日本文学翻訳の動向分析	高橋慎也	中央大学文学部 紀要 言語・文学・文化 245 (13.3)	602
英語とフランス語の未来表現の比較	和田尚明	筑波大学大学院 文藝言語研究 言語篇 63 (13.3)	614
マグワイアに寄せるオハッシーのオード 一J.C.マンガンのアイルランド語からの翻訳 詩について—	荒木孝子	天理大学 外国語教育一理論と実践― 39 (13.3)	634
Expressions of Exceeding of Expectational Limits in Japanese and English	Shigeko Sugiura	東京大学言語学論集 33 (13.1)	642
TRANSLATION OR TRANSFORMATION: JAPANESE RECEPTION AND ADAPTATION OF EIGHTEENTH-CENTURY ENGLISH LITERATURE	NORIYUKI HARADA	東京女子大学 英米文学評論 58 (12.3)	652
日英語節複合における時制表現に関する考察 一話者の状況の視点という概念を通して 一	龍 城 正 明	同志社大学英語英文学研究 90 (13.1)	664
翻訳についての一考察 序説	小 西 康 夫	東洋大学社会学部紀要 49-2 (12.3)	676
Translating the Punctuation of Kawabata's Izu no odoriko	Richard DONOVAN	名古屋外国語大学外国語学部 紀要 43 (12.8)	681
Nominalization in the Japanese and English Languages Vol.1	早 川 知 江	名古屋芸術大学研究紀要 34 (13.3)	688
永続的所有を表す叙述表現に関する英語と日本語の比較: Stassenの類型論研究に基づいて	松藤薫子	日本獣医生命科学大学研究報告 61 (12.11)	698

Repetitive Translation and Conceptual Processing in SI	Ishizuka Hiroyuki	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 12 (12.12)	704
翻訳研究における「等価」言説	長 沼 美香子	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 13 (13.12)	715
現在の事態認識について ―「be-Ving」と「Vテイル」―	高 島 彬	函館英語英文学会 函館英文学 52 (13.6)	724
翻訳と解説 形態論: 語構造の分析(2)	上 野 誠 治	北海学園大学 人文論集 54 (13.3)	728
プロの翻訳家に挑む 『ハリー・ポッター』と学生たちの感性	沢 辺 裕 子	北海道武蔵女子短期大学紀要 45 (13.3)	746
日本の歌を英訳する(1)	山 岸 勝 榮	明海大学 外国語学部論集 25 (13.3)	774
石川啄木「ローマ字日記」の表記の研究	日 景 敏 夫	盛岡大学 比較文化研究年報 22 (12.3)	785
英文和訳時に「ナル」化を生み出す条件	三 宅 英 文	安田女子大学 英語英米文学論集 22 (13.2)	792
No Direction Home? Translation and the Limits to Globalization	Michael CRONIN	立教大学大学院 異文化コミュニケーション論集	803

***・・・・・著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第2分冊 言語文化・語法・語用論

言語文化 (LANGUAGE AND CULTURE)

Misconceptions of Linguistic Imperialism: the spread of English as a global language	Peter Turberfield	亜細亜大学国際関係紀要 22-2 (13.3)	1
英米文学文化研究がたどり着く社会貢献 一文学教育が日常に役立つ瞬間―	橋本賢二	大阪教育大学英文学会誌 58 (13.2)	7
Reflections on Wisdom	Daniela CALUIANU	小樽商科大学 人文研究 126 (13.12)	11
ナーサリー・ライムにおける韻律の役割 ― 「六ペンスの歌」 ―	富原裕二	九州産業大学 国際文化学部紀要 51 (12.3)	17
占領下の英語経験とNippon Times	松永智子	京都大学大学院教育学研究科紀要 59 (13.3)	26
異言語教育と言語文化(その6) ―認知言語学的視座における映画映像の活用とシェイクスピア・プロダクション―	上野義和森山智浩	京都外国語大学 研究論叢 81 (13.7)	33
比較広告の日米比較:説得のディスコースと好まれる伝達方略	八木橋 宏 勇	杏林大学研究報告 教養部門 29 (12.2)	44
ことわざの創造的使用に関する認知的考察	八木橋 宏 勇	杏林大学研究報告 教養部門 30 (13.2)	49
The 1910 Japan-British Exhibition at Shepherd Bush and the British Intellectuals' Interest in Japanese Art and Culture Observed in the <i>TLS</i> and the <i>Athenaeum</i> : Kakuzo Okakura, Roger Fry and Virginia Woolf in British <i>Japonisme</i> and Modernism	Yukiko Kinoshita	神戸女子大学文学部紀要 46 (13.3)	53
英語発達史と民主主義	山崎弘之	国士舘大学 政経論叢 163 (13.3)	68
World Englishes in Japan A Sociolinguistic Perspective	Jackie SUGINAGA	駒沢女子大学 研究紀要 19 (12.12)	87
日本と英語のなぞなぞ比較(2) 一反復用法を中心に一	清海節子	駿河台大学論叢 45 (13.1)	91
戦後日本社会における英語志向とジェンダー 一世論調査の検討から―	寺 沢 拓 敬	東京大学大学院総合文化研究科 言語情報科学 11 (13.3)	110
文化体系と言語イメージの相関あるいは相対的認識体系へ	伊藤徳文	徳島文理大学 文学論叢 29 (12.3)	119
文化語彙の翻訳はどこまで可能か? ―『坊っちゃん』とその英訳を資料として―	霜 崎 實	日本エドワード・サピア協会研究年報 27 (13.3)	126
通訳するための思考	船山仲他	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 12 (12.12)	134

(47-2)

A Cognitive Approach to Metaphor Translation : A Study on the Translations of Haruki Murakami's Jerusalem Prize Acceptance Speech	TOSHIOKA Saeka	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 12 (12.12)	143
英語教材としてのナーサリー・ライム研究 —Iona and Peter Opie収集のThe Oxford Nursery Rhyme Bookを中心に	白 井 美 希	和洋女子大学英文学会誌 47 (13.3)	153
語 法 (USAGE)			
コーパスを利用した現代英語における二要素複合形容詞の分析	西 部 真由美	愛知大学国際コミュニケーション学会 文明 2 1 30 (13.3)	166
前置詞の英文法研究 一格と機能の諸問題―	大 森 裕 實	愛知県立大学外国語学部 紀要 言語・文学編 45 (13.3)	173
Noun-Verb Stress Alternation: Its Nineteenth-Century Development and Its Earlier Historical Backgrounds	RYUICHI HOTTA	岩崎研究会 LEXICON 42 (12.6)	181
Light Verb Constructions: Problems for an Incorporation Analysis	Hiroto HOSHI	秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科 学 68 (13.3)	189
英語における名詞前位修飾表現の諸相	佐々木 一 隆	宇都宮大学国際学部研究論集 36 (13.9)	193
コーパスを用いた『白雪姫』の会話分析	深谷修代	江戸川大学紀要 23 (13.3)	***
What is phraseology about?とWhat about phraseology? ーイディオムはどのようにして形成されるかー	八木克正	関西学院大学 言語と文化 16 (13.3)	196
コーパスを活用した類義語研究 —investigate, examine, explore, analyse/analyzeを例に —	梅咲敦子	関西学院大学 社会学部紀要 116 (13.3)	204
助動詞と疑問詞の位置	伊藤秀彦	関東学院大学 自然・人間・社会 54 (13.1)	213
Be動詞の過剰生成	伊東美津	九州国際大学教養学会 教養研究 19-3 (13.3)	225
Get/Give/Take・句動詞・ヴァイキング	松瀬憲司	熊本大学教育学部紀要 人文科学 60 (11.12)	235
前置詞byの意味 一ひとつの意味を求めて一	嶋 田 裕 司	群馬県立女子大学紀要 34 (13.2)	240
コーパス的 of の捉え方 ―Sinclair (1991) の論文を中心に―	古田八恵	四国英語教育学会 紀要 32 (12.11)	246
Use of Singular Was or Were After If: What do the Data Tell Us?	Andrew Jones	実践女子大学外国語教育研究センター FLCジャーナル 8 (13.3)	252

閨 谷 加奈子 田 中 江 扶	信州大学教育学部 研究論集 6 (13.7)	264
松 島 龍太郎	創価大学英文学会 英語英文学研究 72 (13.3)	271
新井洋一	中央大学 人文研紀要 75 (13.10)	280
Ryuichi Hotta	中央大学文学部 紀要 言語・文学・文化 245 (13.3)	295
TAKAKO FURUYA	津田塾大学 The Tsuda Review 57 (12.11)	304
大 髙 茜	津田塾大学 言語文化研究所報 28 (13.7)	312
大 野 結 花	津田塾大学 言語文化研究所報 28 (13.7)	317
Tamami Shimada	東京大学言語学論集 33 (13.1)	321
平 沢 慎 也	東京大学言語学論集 34 (13.9)	330
湯 本 久美子	東京大学言語学論集 34 (13.9)	339
阿戸昌彦	東京学芸大学 英学論考 42 (13.12)	353
高 橋 千佳子	東京純心女子大学紀要 17 (13.3)	367
清 水 眞	東京理科大学紀要 教養篇 44 (12.3)	371
KATSUKO TOMOTSUGU	同志社大学英文学会 DOSHISHA LITERATURE 54・55 (12.3)	379
出縄貴良	東洋大学大学院紀要 49 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻 (13.3)	390
岡 部 佑 人	東洋大学大学院紀要 49 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻 (13.3)	397
Yasuaki Ishizaki	名古屋大学英文学会 IVY 46 (13.11)	406
長 井 みゆき	日本英語英文学会 日本英語英文学 23 (13.12)	419
	田中島 并	田 中 江 扶 松 島 龍太郎 創価大学英文学会 英語英文学研究 72 (13.3) 新 井 洋 一 中央大学 人文研紀要 75 (13.10) Ryuichi Hotta 中央大学文学部 紀要 言語・文学・文化 245 (13.3) TAKAKO 中央大学文学部 紀要 言語・文学・文化 245 (13.3) TAKAKO 津田塾大学 The Tsuda Review 57 (12.11) 大 禹 茜 津田塾大学 言語文化研究所報 28 (13.7) 大 野 結 花 津田塾大学 言語文化研究所報 28 (13.7) 大 野 結 花 東京大学言語学論集 33 (13.1) Tamami Shimada 平 沢 慎 也 東京大学言語学論集 34 (13.9) 湯 本 久美子 東京大学言語学論集 34 (13.9) 阿 戸 昌 彦 東京学芸大学 英学論考 42 (13.12) 高 橋 千佳子 東京純心女子大学紀要 17 (13.3) 清 水 眞 東京理科大学紀要 教養篇 44 (12.3) KATSUKO TOMOTSUGU 54・55 (12.3) 出 縄 貴 良 東洋大学大学院紀要 49 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻 (13.3) M 部 佑 人 東洋大学大学院紀要 49 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻 (13.3) Yasuaki Ishizaki 名古屋大学英文学会 IVY 46 (13.11)

Phraseologyの台頭と斎藤Idiomologyの再評価	竹 下 和 男	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 28 (13.5)	425
Modal BE -ING構文に関する一考察 一特別用法を中心に一	小澤 賢 司	日本大学英文学会 英文学論叢 61 (13.3)	429
口語英語研究(5) 感謝の表現に関して	木 戸 充 Stuart J. Sanderson	日本獣医生命科学大学研究報告 62 (13.12)	437
Reduced forms in spoken academic discourse: A corpus-based study	Michael J. Crawford	函館英語英文学会 函館英文学 51 (12.6)	444
コーパスを利用した英語シノニム研究 ―英和辞典の記述改善に向けて―	島田祥吾	広島大学大学院 欧米文化研究 20 (13.12)	455
英語シノニム研究 —useとutilize—	島 田 祥 吾井 上 永 幸	広島大学大学院総合研究科紀要 1 人間科学研究 8 (13.12)	466
叙法としての単純未来	川島浩一郎	福岡大学人文論叢 45-1・2 (13.9)	474
"On his face"と"in his face"の違い	白 谷 敦 彦	福岡大学人文論叢 45-3 (13.12)	487
The creation of a corpus of 26 international varieties of English	Leah Gilner Kayono Shiobara Franc Morales	文京学院大学総合研究所紀要 12 (12.2)	500
構文的イディオムとしてのMP away from	松山哲也	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 63 (13.2)	505
Thanks, but no thanks: An exploration of gratitude in refusals	Kate Elwood	早稲田商学同攻会 文化論集 39・40 (12.3)	509
語用論 (PRAGMATICS)			
Remarks on Relative Clauses in English Conversation: Relevance of Speech Act Participants to Preferred Clause Types	Yoshiharu KUMAGAI	愛知県立大学外国語学部紀要 言語・文学編 45 (13.3)	526
情報操作のデザイン 一推理小説の場合―	沖 田 知 子	大阪大学大学院 言語文化研究 39 (13.3)	533
Notes on discourse markers: towards a diachronic study	Shigenobu Fuami	大阪大谷大学 英語英文学研究 40 (13.3)	544
つなぎ言葉Fillerと関連性: you seeとyou knowの議論から	山田大介	神奈川大学言語研究 35 (13.3)	553
アメリカ人大学生の談話標識使用傾向 ―タフツ大学の学生への調査から―	小 林 隆	金沢大学 文化資源学研究 12 (13.2)	568

異文化コミュニケーションと共通言語媒体	中原功一朗	関東学院大学経済学会研究論集 経済系 255 (13.4)	571
'My Lord/Lady' vs. 'Your Lordship/Ladyship': ポライトネスの観点からの考察	北 山 環	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 3-2 (13.3)	***
What is Pragmatics Like?	Etsuzo Miki	熊本県立大学 文彩 9 (13.3)	580
人称代名詞と英語と日本語の丁寧表現の分析	藤原正道	実践女子短期大学紀要 34 (13.3)	585
呼びかけ語familiariserのコミュニケーション機能	小 田 希 望	就実大学英文学会 就実英学論集 29 (13.1)	590
Interactional Management in Conversational Concession with the Stance Marker Well	Tomoko I. SAKITA	同志社大学グローバル地域文化学会 紀要 1 (13.10)	607
Survey of the discourse marker well in quoted speech in spoken American English	Tomoko I. SAKITA	同志社大学言語文化学会 言語文化 15-4 (13.3)	622
強い推意/弱い推意と「雨のなかの猫」	内 田 聖 二	奈良大学紀要 41 (13.3)	636
Reversed Polarity Tags as Inference Trigger Markers —A Cognitive Pragmatic Approach—	Mariko BOKU	日本比較文化学会 比較文化研究 108 (13.10)	642
談話の展開を合図する談話標識	松尾文子	梅光学院大学 論集 46 (13.1)	651
日・英敬語 < politeness expression > 対照研究 「日本語の敬語表現は英語ではどのように表わされるか」 ―川端康成著『雪国』(昭和12年(1937))の作品中の敬語表現とEdward G.Seidenstickerによる同著英語翻訳書 <i>Snow Country</i> (Tuttle Publishing Co.)中の英語翻訳文を資料として―	吉 田 孝	福島大学 人間発達文化学類論集 14 (11.12)	659
調整理論と話者交替	久 保 進	松山大学 言語文化研究 32-1-1 (12.9)	667
ACD Revisited	Shichiro Tanaka	松山大学 言語文化研究 32-1-1 (12.9)	681
発話冒頭の談話標識wellの用法に関する一考察	高 橋 潔	宮城教育大学 外国語研究論集 7 (13.3)	696
Formal Linguistics, Syntactic Representation, and Pragmatic Principles	Takeshi Tsurusaki	明海大学 外国語学部論集 25 (13.3)	702
Current Trends in Corpus-based Discourse Analysis in Britain	Yasunori Nishina	明治学院大学 教養教育センター紀要 カルチュー ル 7-1 (13.3)	712
相互行為における機能的単位について ――発話行為連鎖の視点から―	生 田 少 子	明治学院大学 英米文学・英語学論叢 127 (12.2)	726
Critical Discourse Analysis of the Topic of Texts about Landmines	Kota Yoshizawa	明治学院大学大学院 Nebulous 41 (13.3)	737

(47-2)

コードスイッチングのアコモデーション理論による一考察	宮 原 温 子	目白大学人文学研究 9 (13.9)	76
Object Drop in English and Japanese Child Language: A Discourse-Pragmatic Account		立教大学異文化コミュニケーション学部紀要 ことば・文化・コミュニケーション 5 (13.3)	769
関連性理論によるPC表現の分析:社会的想定と語彙語用論	東 森 勲	龍谷大学国際社会文化研究所紀要 15 (13.6)	77
物語りナラティブにおける「時」の位置づけ	大 野 仁 美	麗澤大学大学院 言語と文明 11 (13.3)	78
Thanks for the laughs: An exploration of humorous gratitude in <i>The Big Bang Theory</i>	Kate Elwood	早稲田商学同攻會 文化論集 41・42 (13.3)	79

***・・・・著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第3分冊 文法・英学

文法 (GRAMMAR)

Ambiguous Wh-questions in Japanese	Hisashi MORITA	愛知県立大学外国語学部 MULBERRY 62 (13.3)	
究極の移動:日本語、シンハラ語におけるHow many/much NP疑問文の分析について	森田久司	愛知県立大学高等言語教育研究所年報 ことばの世界 5 (13.3)	10
Beyond a dichotomic approach to language variation	WAKAYAMA Masayuki	愛知淑徳大学論集 文学部・文学研究科篇 37 (12.3)	16
英語の受動文 [be動詞+過去分詞] における、行為主体を示すby-phrase内のNPと主語 NPとの対応関係をめぐる一考察	渡邊丈文	青山学院大学大学院文学研究科 英米文学専攻院生 会 論集 37 (13.3)	22
英語名詞句の総合的分析に向けた多元的・動的アプローチ	佐々木 一 隆	宇都宮大学国際学部研究論集 32 (11.9)	30
英語非対格動詞の受身化の誤用における文脈の影響について	佐 藤 恭 子	追手門学院大学 英語文化学会論集 22 (13.3)	35
範疇横断的研究 ― 「固体的範疇」と「液体的範疇」―	山 岡 洋	桜美林大学大学院 言語教育研究 3 (13.3)	4
Language as an Instrument of Action and Power: Bourdieu versus Saussure and Chomsky	Abdurrahman Gülbeyaz	大阪大学世界言語研究センター 民族紛争の背景に 関する地政学的研究 20 (12.)	5
Derivational Structures of Instrumental Generic Constructions In English	Keiichiro Seki	大阪経大論集 64-1 (13.5)	56
reverse+NにおけるNの特性とreverseの機能	黒 川 尚 彦	大阪工業大学紀要 人文社会篇 56-2 (12.2)	66
独立条件節の用法	関 茂樹	大阪市立大学文学研究科言語情報学会 言語情報学研究 9 (13.3)	70
文法範疇交替モデルの構築に向けて(2)	村 上 丘	大妻女子大学英文学会 大妻レビュー 46 (13.7)	7
日英語での目的語に対する述部位置 (他動詞構文の2類型化)	河 本 誠	岡山理科大学紀要 48B 人文・社会科学 (12.12)	82
節の融合の形式と特徴について 一That's X is Y形の談話上の働き―	澤田茂保	金沢大学 言語文化論叢 17 (13.3)	88
分離疑問文(Split Questions)のSC分析	根之木 朋 貴	関西大学 外国語教育フォーラム 12 (13.3)	98
分配束縛の統語メカニズム分析とパラメター理論	石 野 尚 浦 啓 之	関西学院大学 英米文学 57 (13.3)	11

独立文の条件再考	井 上 和 子	神田外語大学 Scientific Approaches to Language 11 (12.3)	118
英語の二重目的語構文および前置詞与格構文について ―ミニマリストアプローチ―	大 塚 知 昇	九州大学大学院 九大英文学 54 (12.3)	127
On Gapping and Multiple Sluicing in English	Rumi Takaki	九州大学大学院 九大英文学 54 (12.3)	138
Covert Wh/Focus Movement Obeys Derivational Relativized Minimality in Japanese	Masako Maeda	九州大学大学院 九大英文学 54 (12.3)	149
弱フェイズに関する考察 ―素性継承の拡張―	大 塚 知 昇	九州大学大学院 九大英文学 55 (13.3)	164
The Factors of Licensing/Blocking Extraction out of Adverbial Clauses	Riichi Yoshimura	九州大学大学院 九大英文学 55 (13.3)	172
機能拡張モデルと言語運用の要請 一問返し疑問の応答に関する覚書―	稲田俊明	九州大学大学院 文学研究 109 (12.3)	183
if only because節におけるif onlyの統語的資格について	甲斐雅之	京都女子大学 ESSAYS & STUDIES 58 (13.2)	194
Syntactic word formation and the lexical integrity principle are logically independent matters.	Ichiro Yuhara	杏林大学研究報告 教養部門 30 (13.2)	198
副詞を含む英文の非構造的多義性と束ね理論	石 井 隆 之	近畿大学総合社会学部紀要 2-1 (12.7)	202
B.Blochの活用論の成立 一影響を与えた先駆者たち—	池 田 菜採子	金城学院大学論集 人文科学編 9-2 (13.3)	208
Extending Movement Derivations from Control to Binding	Yuji TAKANO	金城学院大学論集 人文科学編 10-1 (13.9)	224
Indirect Passives and Relational Nouns(II)	Takashi Iida	慶應義塾大学言語文化研究所紀要 44 (13.3)	230
On a Relation between Propositional Content and Linguistic Form	Ichiro Yuhara	慶應義塾大学言語文化研究所紀要 44 (13.3)	241
Minimization of Universal Grammar, Reliance on Third Factor Principles, and Feasibility of Inquiry into Evolutionary Origins	Hisatsugu Kitahara	慶應義塾大学言語文化研究所紀要 44 (13.3)	253
英語マクロ文法の追求:英文頭位の制約	篠 崎 一 郎	言語研究学会 言語の世界 30-1・2 (12.12)	259
英語の文法的数の制約:マクロ文法の研究	篠崎一郎	言語研究学会 言語の世界 31-1・2 (13.12)	279
PP主語の派生とラベル	古 川 武 史	甲南英文学会 甲南英文学 28 (13.7)	304
獲得動詞と作成動詞の与格交替に関する覚書	南 佑 亮	神戸女子大学英文学会 Tabard 28 (13.3)	312
構文(constructions) としての慣用表現 —for all to seeの場合—	南 佑 亮	神戸女子大学文学部紀要 46 (13.3)	318
Derivations via <i>Interface Invasion & Merging Economy</i> as a Syntactic Basis for LF Scope Phenomena	Norio SUZUKI	神戸親和女子大学教育研究センター紀要 9 (13.7)	327

ミニマリスト・プログラムにおける空範疇原理の妥当性について	塚 田 雅 也	國學院大學 Walpurgis 2013 (13.3)	335
英語の動名詞構文	後藤善久	札幌大学女子短期大学部紀要 58・59 (12.3)	342
後置修飾に用いられる単独の過去分詞 一分布と頻度および意味的傾向を中心に―	古田八恵	四国大学紀要 人文・社会科学編 38 (12.12)	351
演算子を主語とする不定詞節について	西 前 明	シルフェ英語英米文学会 シルフェ 52 (13.2)	356
A Typological and Diachronic Study of Causality Expressed by Adpositions in the Languages of the World	Kazuyuki YAMAGUCHI	シルフェ英語英米文学会 シルフェ 52 (13.2)	360
前置詞及び不定詞を導くtoの検証	早 野 勇 馬 他3名	信州大学全学教育機構教職教育部 教職研究 6 (13.6)	377
Theの本当の意味	伊藤 笏康	聖徳大学言語文化研究所 論叢 20 (13.3)	381
動き出した品詞論 ―18世紀後半の英国の場合―	宮 脇 正 孝	専修大学学会 専修人文論集 93 (13.10)	396
Manifestations of prepositions concerning the source and the goal: Focusing on prepositional phrases in non-attributive adjective phrase constructions	Takashi UMEMOTO	大東文化大学 語学教育研究論叢 30 (13.2)	413
The Syntax of Advise and Force	Tsutomu WATANABE	拓殖大学言語文化研究所 語学研究 128 (13.3)	419
Noun Phrase Modifications by Adverb Clauses	KANETANI Masaru	筑波大学大学院 文藝言語研究 言語篇 64 (13.10)	422
動詞派生かRoot派生か 一分散形態論による連用形名詞の分析—	田川拓海	筑波大学大学院 文藝言語研究 言語篇 64 (13.10)	431
語の構造と名付けの機能の関係について — 「形容詞+名詞」 形と「形容名詞(形容動詞) +名詞」 形の複合語の場合—	島村礼子	津田塾大学紀要 44 (12.3)	439
右枝節点繰上げ構文について	岩 田 良 治	天理大学学報 64-2 (13.2)	455
限定的関係節の統語分析 繰り上げ構造と照合構造の相違	田中紀男	天理大学学報 64-2 (13.2)	463
主要部内在関係節再考	田中紀男	天理大学 外国語教育 理論と実践 39 (13.3)	476
Formal Description and Explanation of Temporal Properties of Sentences	Machida, Ken	東京大学言語学論集 33 (13.1)	482
名詞修飾の不定詞節における前置詞消失について(上): Bare-NP Adverbsにおける文法拡張の一様相	八木孝夫	東京学芸大学 英学論考 42 (13.12)	488
省略文に課せられる同一性の問題	島 越郎	東北大学文学研究科研究年報 62 (13.3)	498

On Spell-Out of 'Intermediate Projections'	Akihiko Arano	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 27 (13.9)	**
The Labeling Algorithm and Obligatory Ellipsis	Hiroaki Emoto	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 27 (13.9)	**
Investigations of Argument Structure within the Minimalist Program	Shin-Ichi Kitada	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 27 (13.9)	**
Verb-Stranding VP-Ellipsis in English	Motoki Sato	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 27 (13.9)	**
A Constructivist Approach to the Induced Action Alternation	Kenji Sugimoto	東北大学大学院 Explorations in English Linguistics 27 (13.9)	**
例外:不調和の調和	鈴 木 雅 光	東洋大学文学部 dialogos 13 (13.2)	513
規範文法について	鈴 木 雅 光	東洋大学文学部 dialogos 13 (13.2)	521
英語のフェイク目的語結果構文に関する一考察 —フェイク目的語のタイプとその意味機能—	新妻明子	常葉学園短期大学紀要 43 (12.12)	528
Some Remarks on Non-Finite Clauses	Toshihiko UEMURA	長崎県立大学国際情報学部研究紀要 13 (13.1)	535
英語のbothand 構文における文等位接続の容認性について	西村 祐一	名古屋大学大学院国際開発研究科 ククロス 8 (11.3)	543
アスペクト仮説、プロトタイプ仮説と用法基盤モデル ―生得論者の批判に答える―	久 保 一 美 白 井 恭 弘	名古屋大学大学院 国際開発研究フォーラム 41 (12.3)	550
主節主語後への長距離スクランブリングとフォーカス認可	赤楚治之	名古屋学院大学論集 言語・文化篇 24-1 (12.10)	558
束縛原理をめぐって	有 元 將 剛	南山大学 アカデミア 文学・語学編 94 (13.6)	567
数量詞句の前提性と統語構造についての一考察	本 間 伸 輔	新潟大学教育学部研究紀要 5-2 人文・社会科学 編 (13.3)	580
UNINTERPRETABLE FEATURES AND THE IMMOBILITY OF CONSTITUENTS	AKIHIKO ARANO	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-1 (13. 6)	**
MAX ELIDE AND ECONOMY	HIROKO KIMURA	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-1 (13.6)	**
RECONSIDERING PHASE-INTERNAL DERIVATIONS: ARE THEY EXCEPTIONAL OR NOT?	MANABU MIZUGUCHI	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-1 (13.6)	**

THE GRAMMATICAL FUNCTION OF <i>UNDER</i> AS A HEAD OF PROTASIS: FROM SPATIAL SENSES TO GRAMMATICAL FUNCTIONS	NAOKI OTANI FUMINO HORIUCHI	日本英 語学 会 (13. 6)	ENGLISH LINGUISTICS	30-1	**
GENITIVE SUBJECT LICENSING IN MODERN URDU	HIDEKI MAKI AMANULLAH BHUTTO	日本英語学会 (13.6)	ENGLISH LINGUISTICS	30-1	**
ON PHASE HEAD IN SPLIT CP HYPOTHESIS	MASASHI TOTSUKA	日本英語学会 (13.6)	ENGLISH LINGUISTICS	30-1	**
INTRODUCTION: DISTRIBUTION OF NOMINAL ELEMENTS ACROSS CATEGORIES AND THEIR INTERPRETATION	SAKUMI INOKUMA	日本英語学会 (13.6)	ENGLISH LINGUISTICS	30-1	**
ON THE RELATIVIZATION OF DP ADVERBS	SHUN'ICHIRO INADA	日本英語学会 (13.6)	ENGLISH LINGUISTICS	30-1	**
DISTRIBUTION OF PHI-FEATURES WITHIN DPS AND THE ACTIVITY CONDITION	SAKUMI INOKUMA	日本英語学会 (13.6)	ENGLISH LINGUISTICS	30-1	**
MERGE: BIOLINGUISTIC CONSIDERATIONS	CEDRIC BOECKX	日本英語学会 (13.12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**
BIOLINGUISTICS: CURRENT STATE AND FUTURE PROSPECTS	LYLE JENKINS	日本英語学会 (13.12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**
COUNTERFACTUAL CONDITIONALS AND FOCUS	TOSHIYUKI OGIHARA	日本英語学会 (13.12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**
ON THE STRUCTURE AND INTERPRETATION OF ANTECEDENT-CONTAINED DELETION IN ENGLISH	WENWEN DING	日本英語学会 (13.12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**
TWO TYPES OF LOCATIVE INVERSION CONSTRUCTION IN ENGLISH	KOJI KOIKE	日本英語学会 (13.12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**
SUBJECT/OBJECT ASYMMETRIES AND CHAIN FORMATION IN SELAYARESE	HIDEKI MAKI HASAN BASRI	日本英語学会 (13.12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**
TWO TYPES OF VP-ELLIPSIS	MOTOKI SATO	日本英語学会 (13.12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**
FOCUSED GENITIVE SUBJECT IN JAPANESE AND MONGOLIAN	HIDEKI MAKI MEGUMI HASEBE LINA BAO	日本英語学会 (13. 12)	ENGLISH LINGUISTICS	30-2	**

INTRODUCTION: DERETION PHENOMENA IN THE MINIMALIST PROGRAM	NOBU GOTO	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-2 (13. 12)	**
ANTECEDENT-CONTAINED SLUICING AND IDENTITY IN ELLIPSIS	KENSUKE TAKITA	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-2 (13. 12)	**
DELETION BY PHASE AND ITS CONTRIBUTION TO NON-CONSTITUENT DELETION	NOBU GOTO	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-2 (13. 12)	**
A Non-movement Analysis of Operator-Variable Constructions and Its Consequences	Shigeo TONOIKE	日本英語英文学会 日本英語英文学 23 (13.12)	584
A Note on the Japanese Focus Particle Bakari	Nobuhiro MIYOSHI Takahiro TOZAWA	日本英語英文学会 日本英語英文学 23 (13.12)	598
英語の遡及動名詞構文における語彙特性と統語構造	鈴 木 和 帆	日本英文学会 Proceedings 82 (10.9)	607
Grammaticalization Process and Secondary Interjections	Petrishcheva Nina	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 4 北海 道英語英文学 56 (12.1)	608
可能形式の素材選択に見られる英語の特徴	山口和彦	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 4 北海 道英語英文学 56 (12.1)	614
Two Types of Ellipsis: A Phase-Based Approach	Hiroaki Emoto	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 5 北海 道英語英文学 57 (13.1)	619
英文法へのアプローチ —文法書、フィールドワーク、コーパスから検証する付加疑問文の特徴	守屋 靖代	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 4 関東 英文学研究 4 (12.1)	623
英語の同族目的語構文の統語構造について	大 庭 幸 男	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 5 関西 英文学研究 6 (13.1)	629
感覚動詞が選択するdo補文とdoing補文について 一外と内の視点から一	松崎祐介	日本大学英文学会 英文学論叢 61 (13.3)	633
Extending the Binding Domain of Anaphora in Japanese	Mari SAKAGUCHI	ノートルダム清心女子大学紀要 外国語・外国文学 編 37-1 (13.3)	643
Functional Grammar: A Systemic Analysis of Two Texts	Brian Wojtowicz	姫路獨協大学外国語学部紀要 26 (13.3)	652
On some issues concerning Lexicalization and Grammaticalization	Woo-taek Chung	県立広島大学人間文化学部紀要 8 (13.3)	664
不定目的語省略認可条件の緩和現象	舘 清隆	福井大学教育地域科学部紀要 3 (13.1)	667
A Note on Direct and Indirect Modification	Yoshihiro Kubo Rai Tei	福岡大学研究部論集 12-4 人文科学編 (13.1)	671

動詞の項構造拡張に関する一考察	臼 杵 岳	福岡大学研究部論集 12-4 人文科学編 (13.1)	677
コピー操作を伴う連続的素性継承	菅 野 悟	北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 64-1 (13.8)	682
言語における「構造」について	菅 原 和 竹	宮城教育大学 外国語研究論集 7 (13.3)	690
English Sentences Drafted on the Computer	Yoshinao FUKUHARA	山口福祉文化大学研究紀要 7 (13.3)	694
On so-called small clause constructions in English and Japanese	Mikinari MATSUOKA	山梨大学教育人間科学部紀要 14 (13.3)	696
前置された副詞節内での外置	村 山 和 行	横浜市立大学論叢 63 人文科学系列 3 (12.3)	700
最適性理論の分節素目録と文法 一共時性と音変化―	三宅正隆	立命館大学 立命館国際研究 25-3 (13.3)	709
放出動詞の移動動詞用法について	磯 野 達 也	了徳寺大学研究紀要 6 (12.3)	718
英学 (ENGLISH STUDIES)			
『対訳名物図編』の訳語について ―『増訂華英通語』『英語箋』と一致する訳語を中心に―	櫻井豪人	茨城大学人文学部 人文コミュニケーション学科論 集 15 (13.9)	724
日本における英語研究のはじまり (1808-1862)	平岡隆二	熊本県立大学 文彩 9 (13.3)	730
宮崎元立と英学(続々) 一生麦事件と『英吉利文範』を中心に一	三 好 彰	佐賀大学地域学歴史文化研究センター研究紀要 7 (13.3)	_
『諳厄利亜語林大成』と『英和対訳袖珍辞書』に見る黎明半世紀の英学の進展	三 好 彰	東京大学言語学論集 34 (13.9)	735
明治初期の初等公立教育機関における英語教育の研究 ―地方教育史・教科書調査の結果から―	田 畑 きよみ	東京大学大学院総合文化研究科 言語情報科学 10 (12.3)	742
明治初期(明治元年~10年)の公立小学校における英語教育についての一考察: 岐阜県高山煥章学校と他校との比較を通して	田 畑 きよみ	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 27 (12.5)	751
未完に終わった竹原常太『聖書と文学―イディオム・句動詞用例集―』	堤 美佐子	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 27 (12.5)	761
商業科附設時代の小学校英語 一横須賀市高等八幡山小学校の場合―	竹 中 龍 範	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 28 (13.5)	771

明治初期の京都番組小学校における英語教授計画:他校との比較を通して	田 畑 きよみ	日本英語教育史学会 日本英語教育史研究 28 (13.5)	781
明治期の小学校英語教授法研究(1) ―枩田奥惣之助『英語教授法綱要』の翻刻と考察―	江利川 春 雄	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 60 (10.2)	790
明治期の小学校英語教授法研究(2) — 枩田與惣之助『英語教授法綱要』の翻刻と考察 —	江利川 春 雄	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 61 (11.2)	794
明治期の小学校英語教授法研究(3) ―枩田與惣之助『英語教授法綱要』の翻刻と考察	江利川 春 雄	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 62 (12.2)	798
明治期の小学校英語教授法研究(4) 一枩田與惣之助『英語教授法綱要』の翻刻と考察	江利川 春 雄	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 63 (13.2)	802

***・・・・著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第 4 分 冊 意味論·語彙·辞書

意味論(SEMANTICS)

物語論における人称の意味 認知的談話構築の観点から	山 本 雅 子	愛知大学 言語と文化 28 (13.1)	
英日翻訳における転移修飾表現の分析 一認知言語学的翻訳論の観点から―	貞 光 宮 城	追手門学院大学 国際教養学部紀要 6 (13.1)	1
There構文の感覚と意味	小間坂 和 一	大阪経大論集 63-5 (13.1)	1
The Implications of Fail to + Infinitives	田岡育恵	大阪工業大学紀要 Series B 人文社会篇 58-1 (13.10)	2
英語の進行形と頻度を表す副詞が共起する場合の意味解釈	行 田 勇	大妻女子大学比較文化学部紀要 大妻比較文化 14 (13.3)	28
Mandative Constructions in American English of 1800	MIMA Masao	鹿児島純心女子大学 国際人間学部紀要 19 (13.3)	33
動詞doubtにおける補文標識thatの有無と意味の曖昧性 —通時的検証による一考察—	土 屋 知 洋	岐阜工業高等専門学校紀要 45 (10.3)	42
「客観性」と補文標識thatの出没 — "確信性" を表すsure, confident, certainの比較—	土 屋 知 洋	岐阜工業高等専門学校紀要 46 (11.3)	40
Why Is You Don't Know That Different from You Don't Know It? Reanalyzing Anaphoric Expressions from an Intersubjective View	Chiharu Nakashima	九州大学言語学論集 32 (11.11)	49
形容詞のスケール性に関する多様性とレキシコン	菅 谷 友 亮	京都大学大学院 言語科学論集 19 (13.12)	5
英語動詞RUNの研究(その9) 一意味変化と概念化—	上 野 義 和	京都外国語大学 SELL 29 (13.3)	**
助言談話における結束性	阿 部 圭 子	共立女子大学国際学部紀要 共立国際研究 30 (13.3)	7
結果と過程の認知意味論 一語彙的アスペクトを再考する―	八木橋 宏 勇	杏林大学 外国語学部紀要 25 (13.3)	8
英語における冠詞の多義性と数量詞上昇	石 井 隆 之	近畿大学総合社会学部紀要 1-2 (12.3)	8
意味役割の差による英文の多義性と改訂束ね理論	石 井 隆 之	近畿大学総合社会学部紀要 2-2 (13.3)	9
未来時に「事実性」はあるのか 一英語における直説法と接続法一	松瀬憲司	熊本大学教育学部紀要 62 (13.12)	10
アイロニー発話における推論過程 ―関連性理論に基づく分析―	池 脇 恵里子安 藤 裕 介	久留米大学文学部紀要 国際文化学科編 29 (12. 3)	10

(47-4)

多義性の数値化に関する一考察 一組み合わせ言語学の提唱―	石 井 隆 之	言語文化学会 言語文化学会論集 40 (13.7)	120
Three boys met two girlsはどれくらい曖昧か? 一組み合わせ言語学の可能性―	石 井 隆 之	言語文化学会 言語文化学会論集 41 (13.12)	128
形容詞と主要部名詞の意味的依存関係	月 足 亜由美	甲南女子大学研究紀要 文学·文化編 49 (13.3)	136
可能構文の文法範疇について	山口和彦	札幌医科大学 医療人育成センター紀要 1 (10.3)	140
量に基づいた会話の推移と「反対称」	坪 本 篤 朗	静岡県立大学 ことばと文化 16 (13.2)	146
モダリティ表現の日英語対照研究(5) 日本語で能力・可能表現のない場合のCAN/COULDの出現とその分析	高 橋 正	創価大学英文学会 英語英文学研究 71 (12.9)	154
英語の中間構文の分類と動詞のsceneについて	松 家 由美子	高崎健康福祉大学紀要 12 (13.3)	166
〈食う〉と〈eat〉 一日英語の食のメタファー (動詞編)	山 田 伸 明	中部応用言語学研究会 言語研究と英語教育 10 (13.3)	170
動詞startの助動詞化の進度	竹 田 道 代	鶴見英語英米文学研究 14 (13.3)	176
英語における副詞の生起位置に関する考察 一文法と情報構造の観点から―	宗 宮 喜代子	東京外国語大学大学院 RANDOM 34 (13.3)	186
Strategies for Inferring Word Meanings	Yoko Kanazawa Yuko Tominaga	東京国際大学大学院 国際関係学研究 26 (13.2)	195
Diathesis Alternation Exhibited by Evaluative Adjectives	Tadao MARUTA	東京理科大学紀要 教養篇 45 (13.3)	201
Meanings of words across businesses and cultures: The significance and limitations of BELF	Naoki Kameda	同志社商学 63-4 (12.1)	209
Business English across nations and cultures: To be Easternized or not to be: that is the question	Naoki Kameda	同志社商学 63-6 (12.3)	217
「無」と「空」の関連表現と広告表現における"fill the void"の位置付け —John Cage「4分33秒」の世界観との接点—	有 光 奈 美	東洋大学経営学部 経営論集 81 (13.3)	224
認知能力と言語表現	長谷川 瑞 穂	東洋学園大学紀要 20 (12.3)	233
複合的変化事象における図と地の関係 一3つのタイプの結果構文のマクロ・イベントという観点に基づく分析	新妻明子	常葉学園短期大学紀要 42 (11.12)	239
The Semantics of the English Modal Verb <i>Will</i> —An Analysis of Root Modality and Epistemic Modality	SAITO Naotaka	獨協大学大学院 英語文化研究 42 (13.3)	247
日英語アスペクトに関する一考察	大 里 泰 弘	長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 10-1 (12.3)	277

英語の結果構文における修辞的要因	木 原 美樹子	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要 45 (13.3)	281
A Small Clause Analysis of Perceptions Verb Complement from the Perspective of Verb Semantics	Saori Okada	南山大学大学院 南山言語科学 8 (13.3)	284
On the Scope Property of Zen'in, Zenbu and All	HOMMA Shinsuke	新潟大学大学院現代社会文化研究科 言語の普遍性 と個別性 4 (13.3)	294
SEMANTIC IDENTITY AND DELETION	TAICHI NAKAMURA	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-2 (13. 12)	**
Onomasiologicalな観点からの前置詞Forの意味論	花 﨑 美 紀花 﨑 一 夫	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 5 中部 英文学 32 (13.1)	307
Clause Type and Speech Functions in a Time Management Advice Text	David Dykes	日本機能言語学会 PROCEEDINGS OF JASFL 7 (13. 10)	309
認知言語学と哲学 一言語は誰の何に対する認識の反映か―	酒 井 智 宏	日本言語学会 言語研究 144 (13.9)	315
函数型文法による詩文の解釈	新田義彦	日本大学経済学部 経済集志 81-4 (12.4)	329
認識的用法のmustとwillの違いについて	川原亮介	日本大学大学院 英語英文学論叢 33 (12.3)	344
Will be -ingに含まれる進行形らしさ	島本慎一朗	日本大学大学院 英語英文学論叢 33 (12.3)	352
法助動詞CAN, MAY, COULD, MIGHTが表す可能性について	堀 部 佳 孝	日本大学大学院 英語英文学論叢 33 (12.3)	360
推量を表すwillとmustの相違に関する一考察	小澤 賢 司	日本大学大学院 英語英文学論叢 33 (12.3)	368
句動詞take inの比喩的用法について	岡 良和	人間環境大学 人間と環境 4 (13.11)	374
推論結果を表す談話標識soとthen: 先行発話に対する話し手の態度の違い	松尾文子	梅光学院大学 梅光言語文化研究 4 (13.3)	379
It-cleftsとwh-cleftsの談話上の相違についての考察 「聞き手(読み手)」主体の表現と「話し手(書き手)」主体の表現	松 本 茂	函館英語英文学会 函館英文学 51 (12.6)	389
話し手の感情表出表現としてのReverse WH-clefts ―WH-cleftsと対比させて―	松 本 茂	函館英語英文学会 函館英文学 52 (13.6)	398
メトニミー表現における字義通りの意味の重要性について	森 川 文 弘	姫路獨協大学外国語学部紀要 26 (13.3)	402
英語前置詞INの意味分析	奥 野 忠 徳	弘前大学教育学部紀要 110 (13.10)	409
日英多義語の認知意味論的分析 ―「コトバ」と"word"―	皆 島 博	福井大学教育地域科学部紀要 3 (13.1)	414
間主観性(intersubjectivity)に関する二つの理論の検討: Verhagen(2007)とLangacker (2008)	中島千春	福岡女学院大学短期大学部紀要 英語英文学 48 (12.3)	423

(47-4)

話題化と左方転位	杉山正二	安田女子大学 英語英米文学論集 22 (13.2)	432
構文における創造性と生産性 一創造的な結果構文における非選択目的語の認可のしく み	鈴 木 亨	山形大学人文学部研究年報 10 (13.2)	442
形容詞の段階性構造	仲 本 康一郎	山梨大学教育人間科学部紀要 14 (13.3)	454
Meaning and Intention	YAMAGUCHI Mariko	立教大学異文化コミュニケーション学部 ことば・ 文化・コミュニケーション 4 (12.3)	459
fastとhardの意味拡張とその制約 一通時態と意味構造の考察を通して一	小笠原 清 香	立教大学 英米文学 72 (12.3)	467
動詞rideの意味論	出 水 孝 典	立命館英米文学 22 (13.1)	484
The Semantics of the English Comparative Prefix <i>out</i> - and the Ontology of Degrees and Differences	Takeo Kurafuji	立命館法學 別冊 竹治進教授退職記念論集 (13.3)	491
語彙・辞書(LEXICOLOGY・DICTIONARY)			
FIFTY-NINE SELF-QUOTATIONS IN JOHNSON'S DICTIONARY	Isamu Hayakawa	愛知大学文学論叢 147 (13.3)	501
『日本誌』及び『オックスフォード英語辞典』の双方に現れる日本語(3)	土 居 峻	愛知工業大学研究報告 48 (13.3)	510
英語で書かれた工学系専門教科書の語彙分析	奥山慶洋長野眞康	茨城工業高等専門学校研究彙報 47 (12.3)	514
Who is a Lexicographer?	HENNING BERGENHOLTZ RUFUS H. GOUWS	岩崎研究会 LEXICON 42 (12.6)	517
An Analysis of Concise Oxford English Dictionary, Twelfth Edition	KAZUO DOHI 他3名	岩崎研究会 LEXICON 43 (13.6)	522
A Relation between English Adjectives and Selection of Negative Prefixes —inquiet/unquiet/disquiet—	Akira OKADA	小山工業高等専門学校研究紀要 46 (13.12)	549
Word Association What can It tell Us about Vocabulary Acquisition?	Robin Russ	関西大学 外国語教育フォーラム 9 (10.3)	552
英語のデモニム(地名から派生の人名詞) ―その多様性と規則性―	大 髙 博 美	関西学院大学経済学部 エクス 言語文化論集 8 (13.3)	557
英語の女性接尾辞	神崎高明	関西学院大学 社会学部紀要 116 (13.3)	565

"going to be a mean motherfucker" —映画 The Hurt Locker と俗語の生態学—	島村宣男	関東学院大学文学部 紀要 128 (13.7)	571
「ケンブリッジ大学英語・学術研修」の語彙力への貢献	鈴木右文	九州大学大学院 言語文化論究 30 (13.3)	581
補遺IV『PUNの缶詰:グリーン流通』	齋 藤 實 男	九州産業大学商学会 商経論叢 53-1 (12.10)	586
Negative Affixation in English	Akira OKADA	言語研究学会 言語の世界 30-1・2 (12.12)	603
日本・韓国の小学生の語彙に対する慣れ親しみ	中村典生中村紋歌	言語文化学会 言語文化学会論集 41 (13.12)	610
Word Internal Coda in English	HONMA Takeru	首都大学東京・東京都立大学 人文学報 457 言 語科学 (12.3)	622
北欧語から英語への借入語としてのTroll	伊 藤 盡	信州大学人文学部 人文科学論集 文化コミュニケ ーション学科編 46 (12.3)	629
Concise Oxford English Dictionary第12版に見る現代英語の変化	藤本和子	創価大学英文学会 英語英文学研究 72 (13.3)	637
Collins COBUILD English Grammar第3版に見る現代英語の文法の諸相	藤本和子	創価大学英文学会 英語英文学研究 73 (13.9)	645
琉球古典音楽の詩歌の日・英・西語訳(Ⅲ-1)	田 仲 勉	大東文化大学紀要 51 人文科学 (13.3)	652
通訳者養成における時事英語の位置づけ	鶴 田 知佳子	東京外国語大学論集 85 (12.12)	664
商事法和英辞典編纂資料(抜粋) ―その5―	木 宮 直 仁平川 博	東京海洋大学研究報告 8 (12.2)	682
異写本パラレル・テクストを用いたB言語からのAB言語検証:語彙の視点から	小 野 祥 子	東京女子大学紀要 論集 63-2 (13.3)	692
Usage Notes in The American Heritage Dictionary of the English Language	KAZUO DOHI	東京都市大学共通教育部紀要 6 (13.3)	701
語のイメージについて	埋橋 勇三	東洋大学文学部 白山英米文学 38 (13.2)	709
The Concise Oxford Dictionaly (第9版) のUsage	鈴 木 雅 光	東洋大学大学院紀要 48 文学研究科 哲学・仏教 学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュ ニケーション専攻 (12.3)	718
和製英語はどこまで理解されるか 一現地(ニュージーランド)調査報告(4)―	山 根 一 文	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要 44 (12.3)	729
英華辞典と英和辞典との相互影響 ―20世紀以降の英和辞書による中国語への語彙浸透を中心に―	陳 力 衛	名古屋大学大学院 Juncture 超域的日本文化研究 3 (12.3)	734
<i>Tongue</i> and <i>Cheek</i> : Some Non-Tongue-in-Cheek Remarks on the Metaphorical Usage and Phraseology Associated with Two Body Part Nouns	Phillip R. Morrow	名古屋学院大学論集 言語・文化篇 24-2 (13.3)	744

(47-4)

MORPHOLOGY OF DIRECT MODIFICATION	AKIKO NAGANO	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-1 (13. 6)	**
What is Counted as a Syllable?: A Consideration Based on Some Anomalies Detected in English Suffixation	Takeshi Yamamoto	広島女学院大学 英語英米文学研究 19 (11.3)	750
English Verbal Morphology under Feature Inheritance	Shin-ichi Tanigawa	福岡大学研究部論集 12-4 人文科学編 (13.1)	760
モダン・ディベート —その論理と戦略—(Ⅲ) 「should」の意味、論理的定義の獲得、誤った定義への対処法、両義性	アーサー N. クルーガー /著 山 田 英 二 /訳註	福岡大学研究部論集 12-4 人文科学編 (13.1)	764
複合語とその分類について	中屋 晃	北星学園大学経済学部 北星論集 52-2 (13.3)	767
植物の学名、英名、和名(26) (Helianthium—Hydnocarpus)	舘 山 碧	北海道医療大学人間基礎科学論集 39 (13.11)	772
複合語強勢についての調査と考察 一辞書とアンケートによる検証―	野 上 文 子	明海大学 Journal of Hospitaloty and Tourism 8-1 (12. 12)	788
学習和英辞典 ―その後―	山岸勝榮	明海大学大学院 応用言語学研究 15 (13.3)	793
fair enoughの辞書記述改善案 ーインフォーマント調査とコーパス分析を通してー	仁 科 恭 徳介 田 恵 理	明治学院大学 教養教育センター紀要 カルチュール 7-1 (13.3)	799

*** ・・・・著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第 5 分冊 文体・史的研究・諸論

文体論 (STYLISTICS)

Literature Review of Contrastive Rhetoric	Brett CUMMING	愛知県立大学外国語学部 紀要 言語・文学編 45 (13.3)	1
Military Euphemisms in English: Using language as a weapon	David WATTS	愛知県立大学外国語学部 紀要 言語・文学編 45 (13.3)	8
デフォーの文体と句動詞の使用に関する覚書	村 田 和 穂	有明工業高等専門学校紀要 48 (12.10)	23
英語の標準化に商用英語が果たした役割	林 美登利	追手門学院大学 英語文化学会論集 21 (12.3)	32
話法と思考の表出のモードとその喜劇的効果	松田麻利子	桜美林大学 桜美林論考 言語文化研究 1 (10.3)	37
EmmaにおけるJane Austenの語りの技法と語り手の役割	松田麻利子	桜美林大学 桜美林論考 言語文化研究 3 (12.3)	46
日本語・英語・クメール語におけるオノマトペの対照研究	岩 崎 真 哉	大阪国際大学紀要 国際研究論叢 26-3 (13.3)	54
カナダ英語の背景 一カナダの暮らしと言語(その4)―	浅 田 壽 男	関西学院大学 社会学部紀要 116 (13.3)	61
The Indeterminacy of Pronouns in "The Love Song of J. Alfred Prufrock"	Kyoko SHIMADA	群馬県立女子大学紀要 33 (12.2)	65
The emergence of authority in the editorials of British quality newspapers	Nozomi Miki	言語文化学会 言語文化学会論集 39 (12.11)	72
Lafcadio Hearn's "Ghostly" Narrative: Translation and Re-telling in "Yuki-Onna"	NABAE Hitomi	神戸市外国語大学 神戸外大論叢 63-2 (13.3)	85
『ヘブリディーズ諸島旅日記』におけるボズウェルとジョンソンの英語	市川泰男	中央大学 人文研紀要 75 (13.10)	94
新しいマクロ経済英語入門教科書試案 その10	石 山 宏 一	桐蔭横浜大学 桐蔭論叢 26 (12.6)	115
新しいマクロ経済英語入門教科書試案 その11	石 山 宏 一	桐蔭横浜大学 桐蔭論叢 27 (12.12)	122
新しいマクロ経済英語入門教科書試案 その12	石 山 宏 一	桐蔭横浜大学 桐蔭論叢 28 (13.6)	130
"Within" and "Without": Crossing the Limits of the Worlds in Emily Brontë's Poems	Nobuyoshi Saito	同志社大学英語英文学研究 90 (13.1)	138
Nelson, Cecil L. (2011). <i>Intelligibility in World Englishes: Theory and Application</i> . New York: Routledge. 一国際英語のインテリジビリティー	鹿 野 緑	南山大学 アカデミア 文学・語学編 93 (13.1)	153
ラーキン詩における韻の手法	宮 内 弘	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 5 関西 英文学研究 6 (13.1)	159

(47-5)

母語話者はどのように語るのか ―日英語ナラティブにおける語り手の視点―	川副理美	日本女子大学大学院文学研究科 紀要 18 (12.3)	164
観光英語(4): 重要文化財の天守を有する丸岡城の案内板の英語	福島一人	文教大学 情報研究 48 (13.1)	171
Bank of EnglishとBritish National Corpusにおける英国全国紙のPOSタグ分布	高 見 敏 子	北海道大学 THE NORTHERN REVIEW 38 (12. 3)	177
アーネスト・サトウ ウルグアイ日記抄 ―転記・注解―[VIII](1890.12.1-1890.12.31)	長尾史郎	明治大学教養論集 491 (13.1)	192
アーネスト・サトウ ウルグアイ日記抄 ―転記・注解―[IX](1891.1.1-1891.2.28)	長 尾 史 郎	明治大学教養論集 491 (13.1)	211
Participle based "-edly" Adverbs in Legal Discourse	TORIKAI Shinichiro	立教大学 異文化コミュニケーション学部紀要 ことば・文化・コミュニケーション 5 (13.3)	244
Black English and Basketball: The Characteristics of Black English and the Relationships between Black English and Basketball	Emiko ABE Kazumi TACHIKAWA	流通経済大学スポーツ健康科学部紀要 6 (13.3)	255
Diglossia and Language Legitimacy: Examining how divergences in languages function as discourses of power	Neil Matthew Addison	麗澤大学経済学会 麗沢学際ジャーナル 21-1 (13.3)	259
Empowerment through English: The Case of Bangladesh	Tania Hossain	早稲田大学英文学会 英文学 99 (13.3)	268
マレーシアの英語事情	木 下 裕 昭	和洋女子大学英文学会誌 46 (12.3)	278
史的研究(HISTORICAL STUDIES)			
V2消失をめぐる一考察	阿 部 幸 一	愛知工業大学研究報告 48 (13.3)	304
Attemptの補部に見る通時的な変化について	遠峯伸一郎	鹿児島県立短期大学 紀要 63 人文・社会科学篇 (12.12)	307
excludingの用法の歴史的変化 一文法化の観点から一	林 智昭	京都大学大学院 言語科学論集 19 (13.12)	312
there構文はいつ存在文となったか	藤原保明	聖徳大学言語文化研究所 論叢 20 (13.3)	324
言語変化について考える 一史的言語学の立場から	横田曲美	東京家政大学人文学部 英語英文学研究 19 (13.10)	333
ON THE HISTORICAL DEVELOPMENT OF PREPOSITION STRANDING IN ENGLISH	YOSUKE MATSUMOTO	日本英語学会 ENGLISH LINGUISTICS 30-1 (13.6)	**
英語史と英文法 ―英語の歴史を知れば英語が見えてくる―	長谷川 恵 洋	阪南大学産業経済研究所 OCCASIONAL PAPER 56 (13, 10)	339

英語の定冠詞の発達について	茨 木 正志郎 北海道教育大学 (13.8)	学紀要 人文科学・社会科学編 64-1	354
古 英 語 (OLD ENGLISH)			
古英語geteorianとラテン語deficereについて	石 原 覚 愛知県立大学 (13.3)	外国語学部 紀要 言語・文学編 45	360
Towards a linguistic interpretation of Kuhn's Laws: With special reference to Old English <i>Beowulf</i> Part III	Yasuko Suzuki 関西外国語大学	学 研究論集 97 (13.3)	370
A Note on Five Pieces of Evidence of Periphrastic Modal Verb+Infinitive Constructions: Comparing the OE Prose Psalms and OE Psalter Glosses	Tomonori 杏林大学研究等 Yamamoto	報告 教養部門 29 (12.2)	376
古英語の本文批評とBeowulf(8)	網 代 敦 大東文化大学	英米文学論叢 44 (13.3)	381
Beowulf,1.1134gearの解釈について	船井純平名古屋学院大学	学論集 言語・文化篇 24-2 (13.3)	393
重複動詞とその古英語における発達	森 基 雄 奈良産業大学b (12.12)	也域公共学総合研究所年報 3	398
古期英語と現代英語の格に関する考察	松原正行梅花女子大学	豆期大学部研究紀要 60 (12.3)	403
A New Translation of "The Ruin" with Commentary	Jesse Glass 明海大学大学	完 応用 言語学 研究 4 (12.3)	406
中 英 語 (M I D D L E ENGL I SH)			
「『バースの女房の話』の序と物語」用語索引(3)	東 好 男 大阪産業大学語	倫集 人文・社会科学編 16 (12.10)	408
「『バースの女房の話』の序と物語」用語索引(4)	東 好 男 大阪産業大学語	倫集 人文・社会科学編 17 (13.2)	424
「『バースの女房の話』の序と物語」用語索引(5)	東 好 男 大阪産業大学語	倫集 人文・社会科学編 18 (13.6)	438
「『バースの女房の話』の序と物語」用語索引(6)	東 好 男 大阪産業大学語	倫集 人文・社会科学編 19 (13.10)	454
Textual Transmission and Language Change in the Fifteenth Century: John Trevisa's Middle English Translation of Higden's <i>Polychronicon</i>	Yoko Iyeiri 京都大學文學語	新研究紀要 51 (12.3)	470
後期中英語における「知っている」および「できる」を表す動詞についての覚え書	松瀬憲司熊本大学教育学	学部紀要 人文科学 61 (12.12)	481
A Note on Variant Spellings of 'AWAY' in the Auchinleck Manuscript and the Provenance of <i>the</i> Middle English <i>Sir Orfeo</i>	Koichi Kano 駒澤大学 英芝	米文学 48 (13.11)	487

(47-5)

29

John Trevisa's Middle English Translation of Ranulph Higden's <i>Polychronicon</i> Based on Senshu University Library, MS 1-A Diplomatic Edition(3)	Kazutomo Karasawa Kazutaka Fukuda	駒澤大学文学部研究紀要 71 (13.3)	491
14世紀末におけるthereの文法上の機能	藤原保明	聖徳大学研究紀要 聖徳大学 23 聖徳大学短期大学部 45 (13.3)	536
Wend in Early Middle English	Noriko Unebe	東京家政学院大学 紀要 53 (13.8)	540
Dialectal Spellings and Textual Evolution: the Text of <i>Guy of Warwick</i> in Cambridge University Library, MS Ff. 2.38	Yuzuru Okumura	富山大学人文学部紀要 56 (12.2)	544
近代英語(MODERN ENGLISH)			
Contrastive Research between the Folio Edition and the Abstracted Edition of Samuel Johnson's English Dictionary	MASATO KATANO	岩崎研究会 LEXICON 42 (12.6)	550
Chaucerの聴覚表現としてのオノマトペ	笹 本 長 敬	大阪商業大学論集 9-2 (13.7)	566
Othelloにおける否定構造	松 浦 芙佐子	岡山英文学会 PERSICA 40 (13.3)	576
Macbethにおける言葉の魅力について 一韻律と修辞法の観点から	古 庄 信	学習院女子大学紀要 15 (13.3)	582
シェイクスピア劇の日本語舞台翻訳 ― 「詩」と「劇」の出会い―	ダニエル・ ガリモア	関西学院大学 人文論究 63-1 (13.5)	590
The Auxiliary Do in Negative Construction in Shakespeare's Plays	Hiroshi Yadomi	京都大学大学院英文学研究会 Zephyr 25 (13.7)	601
The Development of the Vowel System in Early Modern English: With Special Reference to the Pronunciation of Tyndale and Shakespeare(3)	Kazuo Morishima	京都外国語大学 SELL 29 (13.3)	611
The Development of Conjunctions Introducing Adverbial Clauses of Time from the First Half of the 16th Century until the First Half of the 17th Century in English Prose Works	Yukio Haraguchi	熊本学園大学論集 総合科学 19-2 (13.6)	624
Othello本文と読みについての覚え書き(4) $-Othello$ 本文編纂におけるQ2(1630)の歴史的位置と価値	金子雄司	中央大学英米文学会 英語英米文学 53 (13.3)	647
A Report on Globe to Globe 2012: Shakespeare's 37 Plays in 37 Languages	HAMANA Emi	筑波大学外国語センター 外国語教育論集 35 (13.3)	652
欽定訳聖書に見る仮定法現在 一認可要素探索の旅	千 葉 修 司	津田塾大学紀要 45 (13.3)	659

初期の英英辞書: John Bullokar's An English Expositor (1616) について	浦田和幸	東京外国語大学論集 83 (11.12)	698
Henry WIIについて (その2)	田 中 章	新潟経営大学紀要 19 (13.3)	708
近代初期英語の説教、諺、演劇 ―『ヴェニスの商人』を中心として―	鶴 田 学	福岡大学研究部論集 12-5 人文科学編 (13.1)	712
明星大学所蔵ファースト・フォリオ (MR774, West201) の書き込み <i>一Hamlet</i> を中心 に—	井 上 歩 住 本 規 子	明星大学 明星国際コミュニケーション研究 5 (13.3)	716
シェイクスピアの英語で読み解く世相 (X)	小 林 哲 史	早稲田実業 早実研究紀要 47 (13.3)	726
諸 論 (MISCELLANEOUS)			
English and the Paradoxical Social Structure of Japan	ADACHI Masayuki	桜美林大学 桜美林論考 言語文化研究 3 (12.3)	733
舞台、台本、翻訳へ 一英語・バイリンガルKyogenへの挑戦―	ジョナ サルズ	お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター研究 年報 9 (13.3)	739
Three Countries: Cameroon, France, Japan and their Language Policies	Paul Alexander ETOGA	嘉悦大学研究論集 54-2 (12.3)	742
中小製造業における英語および外国語の使用状況	橋 本 健 広	関東学院大学 経済経営研究所年報 35 (13.3)	750
日本人の目指す英語	郡山桂子	佐賀女子短期大学研究紀要 46 (12.3)	754
Language policy and national development: the cases of Malaysia and Japan	Hidemori Yasuyama	城西大学語学教育センター研究年報 6 (12.3)	759
日本的英米人(I)	竹田津 進	長崎県立大学経済学部論集 47-2 (13.9)	763
English as Global Language: Facilitator not Oppressor	Christopher S. DAVANZO	南山大学 アカデミア 文学・語学編 91 (12.1)	782
サピア、イェスペルセン、国際補助語	渡部良典	日本エドワード・サピア協会研究年報 27 (13.3)	785
法廷通訳と言語イデオロギー	吉 田 理 加	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 12 (12.12)	789
政治活動と言語研究のあいだ ―ノーム・チョムスキーの「二面性」を探る―	小 林 正 歩	函館英語英文学会 函館英文学 49 (10.3)	799
欧米語の一つとしての英語の特徴	木 村 哲 也	函館英語英文学会 函館英文学 51 (12.6)	806
Language Diversity: A Dying Concept	William Hay	麗澤大学経済学会 麗沢学際ジャーナル 20-2 (12.9)	809

(47-5)

*** ・・・・著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第6分冊 英語教育

英語教育 (TEFL)

Approaches to Writing and the Japanese University Context	Nicholas Bradley	愛知大学 言語と文化 26 (12.3)	1
The Value of Contrastive Rhetoric in the Japanese EFL Classroom	Nicholas Bradley	愛知大学 言語と文化 27 (12.7)	Ç
English Language for a Positive International Learning Community	Satoshi Tsukamoto	愛知大学 言語と文化 28 (13.1)	1
Promoting a Willingness to Communicate in Japanese Students	Nicholas BRADLEY	愛知大学 言語と文化 29 (13.7)	21
Notions of Proficiency in the FL/L2 Field: A Proficiently Sticky Web	SULLIVAN Susan Laura	愛知大学国際コミュニケーション学会 文明21 30 (13.3)	29
Rules, Rules: Why do students hate grammar?	R. Jeffrey BLAIR	愛知学院大学 語研紀要 38-1 (13.1)	35
文法と文の組み立て ―2012年度教員免許更新講習報告―	浜 崎 通 世	愛知教育大学 外国語研究 46 (13.3)	45
The Influence of English when Learning German	Oliver Mayer	愛知教育大学 外国語研究 46 (13.3)	61
Similarities and Differences in the Acquisition of First and Second Languages	Brett CUMMING	愛知県立大学高等言語教育研究所年報 ことばの世界 5 (13.3)	69
協同学習理念を取り入れた英語リーディング授業	和 田 珠 実	愛知県立大学大学院 国際文化研究科論集 14 (13.3)	7;
英語教育はGDM (Graded Direct Method) から何を学ぶか 一生徒が学ぶ英語授業のために—	副 島 孝	愛知文教大学論叢 16 (13.11)	8
日本語母語話者が習得すべき国際英語の発音基準 一大学英語教育の場から考える一	中 村 聡	跡見学園女子大学 コミュニケーション文化 6 (12.3)	90
「ニホン英語」は大学英語教育の目標になりうるか	中 村 聡	跡見学園女子大学 コミュニケーション文化 7 (13.3)	93
Do cross-linguistic differences in writing directions affect special construals to represent time?	Munehiko MIYATA	茨城大学人文学部 人文コミュニケーション学科論 集 15 (13.9)	98

(47-6)

英語教育の実践と語彙指導 一基礎英語からESPまで一	佐藤 一昭	いわき明星大学人文学部研究紀要 26 (13.3)	103
英語教育と文学的教材[17] 一高校生のための効果的な読解ストラテジー―	青柳明子幡山秀明	宇都宮大学教育学部 教育実践総合センター紀要 36 (13.7)	121
英語教育と文学的教材[18] 一M.L. キング牧師の"I Have A Dream"とオバマ大統領就 任演説に見る英語スピーチの指導の在り方一	上 野 経 子幡 山 秀 明	宇都宮大学教育学部 教育実践総合センター紀要 36 (13.7)	125
英語教育と文学的教材[19] 一中学校英語授業への多読活動の効果的導入方法一	小 堀 伸 治幡 山 秀 明	宇都宮大学教育学部 教育実践総合センター紀要 36 (13.7)	128
English Entrance Exams: Does Comprehension Matter?	Ross Eric Miller Miyagi Sadamitsu 他2名	追手門学院大学 英語文化学会論集 22 (13.3)	131
英語文学研究と英語教育の接合 —Ernest Hemingwayの"Cat in the Rain" (1925) を事例として—	増 崎 恒	追手門学院大学 国際教養学部紀要 6 (13.1)	136
The Catcher in the Ryeの語りの構造 一英語教育に生かすために	松田麻利子	桜美林大学 桜美林論考 言語文化研究 4 (13.3)	146
英語教科書における日本語からの語彙借用 ―「日本英語」研究の資料として―	橘 広司	桜美林大学大学院 言語教育研究 3 (13.3)	154
小学校英語活動におけるコミュニケーション能力の育成に関する一考察 ―授業と教員 の視点から―	大 槻 雅 俊	大阪成蹊短期大学 研究紀要 10 (13.3)	160
英語多読の読みの速度に対する効果 —Beglar, Hunt, & Kite (2012)の批評—	稲垣 スーチン 稲 垣 俊 史	大阪府立大学 言語と文化 12 (13.3)	166
平成25年度検定済新英語教科書の口語表現のオーセンティシティ検証と5つの緊急提言	小 林 敏 彦	小樽商科大学 人文研究 126 (13.12)	169
中学・高等学校現場にはどのような英語資格試験が効果的か ―その1― ―実用英語技能検定試験とTOEIC、その他資格試験との比較、今後における課題―	山 西 敏 博	小山工業高等専門学校研究紀要 45 (12.12)	192
中学・高等学校現場にはどのような英語資格試験が効果的か その2 一実用英語技能検定試験とTOEIC、その他資格試験との比較、今後における課題—	山 西 敏 博	小山工業高等専門学校研究紀要 46 (13.12)	197
日本人が英語で考えられない原因:語順の違いと英語音声の特質	清 水 英 之	学習院女子大学紀要 15 (13.3)	202
Keeping Content Current: Are Culture-Based Textbooks Obsolete in the Modern Classroom?	Richard Bent	活水女子大学 活水論文集 英語学科編 56 (13.3)	209
コミュニケーション能力の育成に有効な連語の提案 —学習者コーパスを利用した連語 指導の改善に向けて—	今 田 健 蔵	神奈川大学大学院 言語と文化論集 19 (13.2)	216
高等学校検定教科書分析から考える関係代名詞の指導法 一従来の指導法からの脱却と 新提案一	宮 木 慎	神奈川大学大学院 言語と文化論集 19 (13.2)	236

英語を「読める」ということ ―英語で行うことを基本とする高校の授業で教科書の内 容理解をどう生徒にさせるか?―	前田昌寛	金沢大学外国語教育研究センター 外国語教育フォ ーラム 7 (13.3)	254
認知言語学の国際共通英語への教育応用の考察 一問題点を中心に一	田 中 実	川村学園女子大学研究紀要 24-1 (13.3)	258
Variation within Kachru's Expanding Circle of Englishes: A Comparison of English Use and Learning in Japan and Sweden	Fred E. Anderson	関西大学英米文学英語学会 英米文学英語学論集 1 (12.3)	265
How many high frequency words of English do Japanese university freshmen 'know'?	James Martin Rogers	関西外国語大学 研究論集 97 (13.3)	273
Similarities in the Syntactic Development of two Discourse Markers: Japanese <i>nanka</i> and English <i>like</i>	Kevin HEFFERNAN	KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY HUMANITIES REVIEW 17 (13. 2)	281
The Interpretation of Argument Ellipsis by Japanese Child and Adult Speakers	Kazumi YAMADA	KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY HUMANITIES REVIEW 17 (13. 2)	287
The Acquisition of Word Order: Micro-Cues, Information Structure, and Economy By Westergaard, Marit, Linguistic Aktuell/Linguistics Today 145, John Benjamins, Philadelphia, 2009, xii+245pp.	Kazumi YAMADA	関西学院大学 言語と文化 16 (13.3)	293
Implications of Cross-Linguistic Lexical Similarities for Japanese Learners of English	Keith Barrs	神田外語大学 言語教育研究 23 (12.11)	299
イギリスにおける言語教育と文学教材	奥 聡一郎	関東学院大学工学部 科学/人間 42 (13.3)	305
本校本科一年生の英文法におけるエラー分析	鈴木基伸	岐阜工業高等専門学校紀要 46 (11.3)	313
An Examination of Workplace Discourse in Considering Teaching Authentic Materials	John-Russell Anscomb-Iino	九州大学英語英文学研究会 英語英文学論叢 63 (13.3)	***
Rationalizing Japan's Grammar-Translation Approach with True Grammar Needs	John-Russell Anscomb-Iino	九州大学英語英文学研究会 英語英文学論叢 63 (13.3)	***
英語検定試験と英語による文字チャットの活動量との関係	鈴木右文	九州大学大学院 言語科学 48 (13.2)	316
英語学習者のエラーについて	伊 東 美 津	九州国際大学教養学会 教養研究 18-3 (12.3)	319
World Englishes and English as a Lingua Franca Application in the English Classroom in Japan	Justin HARRIS	京都産業大学 高等教育フォーラム 2 (12.3)	329
分かる英文法から使える英文法へ 一文構造 (単文・重文・複文) ―	高橋 勝忠	京都女子大学英文学会 ESSAYS & STUDIES 58 (13. 2)	334
On Collocative Meaning: Semantics and EFL	Matthew MICHAUD	京都精華大学紀要 43 (13.9)	339

実践的イディオム学習への認知的アプローチ	八木橋 宏 勇	杏林大学 外国語学部紀要 24 (12.3)	346
Theoretical and Practical Perspectives of Vocabulary Learning	Chikako Mochizuki West Rovert West	杏林大学研究報告 教養部門 30 (13.2)	355
A Corpus Analysis of Dictionaries for Japanese Learners of English to Facilitate English Teaching and Learning	Ichizo Ueda	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 2-2 (12.3)	361
ESPのジャンル・アプローチがアウトプットに及ぼす効果の検証の試み	照 井 雅 子	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 4-1 (13.7)	373
Beyond the Native Speaker: World Englishes and the NEST/NNEST Dichotomy	Kevin Kato	金城学院大学論集 人文科学編 9-2 (13.3)	380
母語話者と第二言語話者の心内辞書 ―語類の混在する単語群における意味的クラスタ リング構造―	折 田 充 小 林 景	熊本大学社会文化研究 10 (12.3)	385
コーパスを用いた日本人学習者の句動詞の使用に関する研究	飯 尾 豊	熊本大学社会文化研究 11 (13.3)	393
Working Memory and L2 Linguistic Knowledge as Components of L2 Listening Comprehension	Satori Miki	熊本大学社会文化研究 11 (13.3)	403
中学生における基本動詞makeの文法的・語彙的コロケーションについて	福 冨 かおる	熊本学園大学 文学・言語学論集 19-2 (12.12)	413
イギリス英語の現状と英語教育の方向性	柴 田 知薫子	群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 62 (13.2)	424
Acquisition of the Long Distance <i>Wh</i> -Interrogative Construction and the Cleft Construction in English by Japanese ESL Learners	Megumi Hasebe Hideki Maki Toshiro Umezawa	言語文化学会 言語文化学会論集 40 (13.7)	428
On the <i>That-</i> Trace Effect by Mongolian EFL Learners: A VAS Based Analysis	Megumi Hasebe Hideki Maki Toshiro Umezawa	言語文化学会 言語文化学会論集 41 (13.12)	437
Genre-based Tasks and Process Approach in Foreign Language Writing	Kayo YOSHIDA	甲南大学 言語と文化 16 (12.3)	444
学習参考書と文法書における助動詞willの単純未来と推量の用法に関する記述について の調査と考察	吉川勝正	神戸英語教育学会 KELT 28 (13.1)	448
コンテストスピーチのレトリック —Logos, Pathos, EthosとAudience Involvement	野 村 和 宏	神戸市外国語大学 神戸外大論叢 63-2 (13.3)	455
国際共通語としての英語 ―最近の海外動向と教育的意味―	鳥 飼 玖美子	神戸女子大学 Global-local studies 6 (13.3)	468

英語語強勢のL1/L2知覚におけるF0の役割: 聴覚トレーニングは役に立つか?	徳 間 伸 一 Won Tokuma	國學院大學 Walpurgis 2013 (13.3)	479
日本の小学校段階での英語教育の現状と問題点	中 林 眞佐男	国際教育学会 クオリティ・エデュケーション 5 (13.4)	486
Analyzing Audiovisual Translation: On New Approaches to Translation Studies	MORIZUMI, Fumi	国際基督教大学 教育研究 55 (13.3)	495
Theoretical and Practical Issues of Integrated Speaking Tests	NAKAMURA, Yuji	国際基督教大学 教育研究 55 (13.3)	505
英字新聞を使った授業の指導法	鈴木俊二	国際短期大学紀要 27 (13.3)	508
新聞英語における語法・語彙	鈴木俊二	国際短期大学紀要 27 (13.3)	521
A corpus-based approach to the English speaking test for Japanese learners, with particular focus on ignored spoken features	Nozomi Miki	駒澤大学総合教育研究部紀要 7 (13.3)	523
日本人が使用する英語	足立峻一	駒澤大学大学院 試論 38 (12.4)	531
Our Visions of English Education in Japan	Hironori HAYASE	佐賀大学文化教育学部研究論文集 17-2 (13.1)	536
L2 Pedagogical Implications of the Dichotomy of Two Types of Knowledge: Explicit Knowledge and Implicit Knowledge	Koji Takeuchi	札幌国際大学紀要 44 (13.3)	543
Characteristics of the Cultural Materials Shown in Each Series of Junior High School English Textbooks	OOKAWA Kouki	四国英語教育学会 紀要 33 (13.12)	546
アスペクトの習得 一なにがなぜむずかしいのか―	吉 村 紀 子	静岡県立大学 ことばと文化 16 (13.2)	551
COMMON ERRORS IN THE USE OF ENGLISH DICTIONARY TRANSLATIONS BY BEGINNING LEVEL LEARNERS IN JAPAN	Adrienne L. Garden	静岡産業大学情報学部研究紀要 15 (13.3)	557
英語話者と日本語話者の時間把握についての一考察	藤原正道	実践女子大学外国語教育研究センター FLCジャー ナル 8 (13.3)	564
和製カタカナ英語から実例で示す真正英語へ (XX)	山 崎 千 秋	芝浦工業大学研究報告 人文系編 47-1 (13.3)	568
国際英語研究から考察するコロケーションへの理解度と容認度 ―日本人英語学習者の 発話コーパスを用いた調査―	花 元 宏 城	社会言語科学会 社会言語科学 15-2 (13.3)	571
Language use in English academic writing by a tertiary overseas student	Yumiko MIZUSAWA	順天堂大学 順天堂スポーツ健康科学研究 1-4 (10,4)	578

(47-6)

英語活動における「話すこと」の効果に関する実践的事例研究 ―どのくらい児童は既習した言語項目を表現できるか―	石 濵 博 之	上越教育大学研究紀要 32 (13.2)	582
Learning English as an International Language: Study Abroad in a Multilingual Society	NAKAYAMA Tomokazu 他4名	城西大学国際文化研究所紀要 18 (13.3)	588
日本人英語学習者のピッチ使用域の改善について ―シャドーイング訓練の効果を探る	遠山道子	上智大学 Lingua 23 (12.11)	601
日本人英語学習者の語彙・フレーズの発達	金 子 朝 子	昭和女子大学近代文化研究所 学苑 870 (13.4)	612
The Effects of Controlled and Reconstructive Oral Repetition on the Acquisition of Lexical Phrases	Yoshimasa Ogawa	昭和女子大学近代文化研究所 学苑 870 (13.4)	618
Development of Intercultural Communication: A Case Study of Japanese Speakers at a University Setting in the U.S.	Sumiko Miyafusa	昭和女子大学近代文化研究所 学苑 874 (13.8)	630
Research on English Mistakes Made by Japanese Junior High School Students	Yukiko Yamagami	白百合女子大学 SELLA 41 (12.3)	636
An analysis of a dictation test for high school students	Maiya Ueda	白百合女子大学 SELLA 42 (13.3)	643
前置詞toを用いた未来表現の効果的な教授法の提案 一to不定詞の効果的な教授法―	藤脇早上 皮太馬緩	信州大学 教職研究 6 (13.6)	651
英文読解のために(5)	長谷信夫	鈴峯女子短期大学 人文社会科学研究集報 60 (13.12)	657
日本を発信する英語	加藤知子	星城大学 研究紀要 13 (13.3)	666
教育英文法へ向けての文型論 ―英語の文における義務的な要素と随意的な要素の判別―	林 龍次郎	聖心女子大学論叢 121 (13.7)	671
Using Literary Texts with Text Translations and In-Class Activities	OKADA Yasuko	清泉女子大学 人文科学研究所紀要 34 (13.3)	680
Communicative Language Teaching in English at Japanese Junior High Schools	Masashi Otani	創価大学大学院紀要 35 (13.12)	688
Investigating the Relationship Between Metalinguistic Knowledge and L2 Proficiency	IIDA, Tsuyoshi	大学英語教育学会 JACET Journal 54 (12.3)	699
Is There a "Critical Period" in the Acquisition of English by Japanese Learnaers? Factors Affecting TOEIC Scores and the Production of English Rhythmic Patterns	SUDO, Michiko Mochizuki KANEKO Ikuyo	大学英語教育学会 JACET Journal 54 (12.3)	709

Poetry Reading and Noticing the Hole in Interlanguage: A Proposal for Investigating the Relation Between Poetry Reading and Interlanguage Development	NISHIHARA, Takayuki	大学英語教育学会	JACET Journal	54	(12. 3)	716
The Influence of Verb Subcategorization Information and the Complementizer <i>that</i> on Sentence Processing by Japanese Learners of English as a Foreign Language	BANDO, Takao YAMASHITA, Junko	大学英語教育学会	JACET Journal	55	(12. 10)	720
How Japanese EFL Learners Access English Homographic Words: An Analysis by a Semantic Relevance Judgment Task	MIKI, Kohei	大学英語教育学会	JACET Journal	55	(12. 10)	729
Corpus-Based Comparative Analysis of Reporting Verbs in English Essays Written by Four Language Nationalities	YAMASHITA, Miho	大学英語教育学会	JACET Journal	55	(12. 10)	735
A Study on the Effectiveness of Oral Reading Activities to Improve Speaking Ability	YONEZAKI Michi ITO, Harumi	大学英語教育学会	JACET Journal	55	(12. 10)	746
How Japanese students perceive demotivation toward English study and overcome such feelings	AGAWA Toshie UEDA Mami	大学英語教育学会	JACET Journal	56	(13. 3)	755
The construct of English oral proficiency tests : Which aspects of communication are measured	SATO Takanori	大学英語教育学会	JACET Journal	56	(13. 3)	764
ディベート対話構造における英語産出の特徴	FUJIMORI Chihiro	大学英語教育学会	JACET Journal	56	(13. 3)	773
Incremental Learning of Homonyms in Multiple Contexts Among Japanese EFL Readers	USHIRO Yuji 他6名	大学英語教育学会	JACET Journal	57	(13. 10)	780
Influences of International Attitudes and Possible Selves on Willingness to Communicate in English: A Comparative Analysis of Models for Japanese High School and University Learners of English	SUGAWARA Kenta 他5名	大学英語教育学会	JACET Journal	57	(13. 10)	790
日本人英語学習者による主語WH疑問文と目的語WH疑問文の理解	ITO Akihiro	大学英語教育学会	JACET Journal	57	(13. 10)	800
				(E	第6分冊増刊に	続く)

***・・・・著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第6分冊増刊 英語教育

英語教育 (TEFL) (承前)

40

-Review of Studies Concerning Noun Countability and Implications for Teaching Countability to Japanese Learners of English	Toshiaki TAKAHASHI	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 9 (12.2)	1
ディクテーションの誤答分析による単語リストを使用した発話単語認知の向上について の研究	小 山 尚 史	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 9 (12.2)	7
小学校と中学校の連携を視野に入れた中学1年入門期における英語フォニックス指導	林 恵利	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 10 (13.3)	13
Theme-based Language Instructionにおける4技能の統合 ―テーマ学習と関連づけた言語技能の統合―	池 野 修	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 10 (13.3)	20
Setting and Achieving Realistic Vocabulary Goals in a Communication English Course	Haidee Thomson	大学英語教育学会北海道支部 Research Bulletin of English Teaching 10 (13.3)	25
英語教育法(5)日本の英語教育 —小学校外国語活動新設に伴う英語テキストの分析と 検討—	井 手 裕 美	太成学院大学紀要 15 (13.3)	35
「連接」の物理的特性と教育的効果 一日本人英語学習者のための音響音声学的・教育音声学的考察—	大 山 健 一	大東文化大学 語学教育研究論叢 30 (13.2)	41
Incorporating picture books by Eric Carle and Leo Lionni in the children's EFL classroom for pre-service teachers in Japan	Miori SHIMADA	大東文化大学 語学教育研究論叢 30 (13.2)	48
留学生別科の英語教育 一日本で学ぶ留学生に必要な英語教育とは一	三井美穂	拓殖大学日本語紀要 22 (12.3)	61
Using Still Images for Spoken English Communication-Part Two	David John WOOD	筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部 紀要 8 (13.1)	68
Using Still Images for Spoken English Communication - Part Three	David John WOOD	筑紫女学園大学・短期大学部 人間文化研究所年報 24 (13.8)	74
なぜ日本人学生の英作文に受動態表現が多いのか? 一学生の英作文からの考察と指導についての提案—	木 村 郁 子	千葉大学言語教育センター 言語文化論叢 7 (13.3)	81
Investigation into Monologue and Dialogue from the TEFL Perspective for Japanese	Mariko Kubo-Holland	中部応用言語学研究会 言語研究と英語教育 10 (13.3)	88
英語の有意味的学習指導 ―「言語表現の動機づけ」を中心に―	山本幸一	中部応用言語学研究会 言語研究と英語教育 10 (13.3)	99

(47-6 増)

A Study of Learner Autonomy —Towards the Development of an Autonomy Scale for Japanese Learners of English	SAHASHI Yoshimi	中部大学大学院 国際人間学フォーラム 9 (13.3)	109
アニメーションを用いた前置詞指導 一方向前置詞を例として一	藤森敦之吉村紀子	中部地区英語教育学会紀要 42 (13.1)	113
明示的知識・暗示的知識における母語の干渉の生起変異	島田勝正	中部地区英語教育学会紀要 42 (13.1)	116
THE PROCESS OF PARAPHRASING: EXERCISES TO BUILD PARAPHRASING SKILLS	TAMMY GUY HARSHBARGER	津田塾大学 The Tsuda Review 57 (12.11)	***
Students' First Language(L1) Use in the English Classroom	YUKO MATSUMOTO	津田塾大学紀要 45 (13.3)	119
Daialogic Interaction in Second Language Learning: A Sociocultural Perspective	Kazuko Minematsu	津田塾大学大学院 論集 33 (12.3)	126
Picture Books as Materials for Extensive Reading	Shoichi Inaba	都留文科大学英文学会 英語英文学論集 41 (13.3)	135
再考:日本における英語教育 一別の視点から見た日本の大学教育	木 村 利 夫 Steven Paydon	鶴見大学紀要 50-2 外国語・外国文学編 (13.3)	146
Teaching the Differences in American and British English and other English Accents	Lola Gayle Moriguchi	鶴見大学 TSURUMI REVIEW 42 (12.6)	155
Teaching Lower-level English Learners: 'False' Beginners vs. 'Absolute' Beginners	HOSAKA Hanako	東海大学紀要 文学部 97 (12.9)	160
英語・日本語における空間・時間に関わる格標識:日本語母語話者による英作文学習者 コーパスにみられる誤用類型	望 月 圭 子 キャロライン 狩 野	東京外国語大学論集 85 (12.12)	167
新学習指導要領に基づく中学校英語教科書語彙のリズムパターン分析	高 山 芳 樹	東京学芸大学 英学論考 42 (13.12)	176
日英2言語環境下で育つ児童の語彙発達	柳 澤 りょう 松 井 智 子 他2名	東京学芸大学国際教育センター 国際教育評論 10 (13.3)	182
英語コミュニケーションの即応力を高める語彙力測定システムの開発	川村明美山内 豊 Kay Husky	東京国際大学論叢 言語コミュニケーション学部編 9 (13.3)	190
Reconsidering Wabun Eiyaku: From Criticisms to Hypotheses	Kazutake KITA	東京理科大学紀要 教養篇 45 (13.3)	196
運用へと繋がる英文法指導の考察 一主語が新情報で対比的な状況で選択される形式は何か—	片 山 七三雄	東京理科大学紀要 教養篇 45 (13.3)	205

(47-6増)

グローバルビジネスに求められる英語ライティングスキルについて	竹 田 宗 継	同志社大学 コミュニカーレ 2 (13.3)	217
学習英文法における構造上の多義性	中村太一	東北大学 文化 75-3・4 (12.3)	224
英語多読のすすめ 一第二言語習得から見たその効果―	坂 内 昌 徳	東北学院大学英語英文学研究所紀要 38 (13.3)	231
Yes and No Authentic Response Roundabouts.	Maree Sugai	東北公益文科大学 総合研究論集 23 (13.1)	239
音韻からの連想を用いた英語広告表現への認知言語学的アプローチ	有 光 奈 美	東洋大学経営学部 経営論集 79 (12.3)	244
Phonological Awareness as Revealed by Spelling: Do Japanese EFL learners process written English phonologically?	Meredith Stephens Shirley Leane	徳島大学総合科学部 言語文化研究 21 (13.12)	250
JAPAN in focus English Conversations with a Video Camera!	Bruce Wilson	富山大学芸術文化学部紀要 GEIBUN 7 (13.2)	257
国際異文化理解における英語教育の役割 II 一伝承文学と異文化理解一	山崎有介	長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 11-1 (13.3)	263
Code-switching in Japanese and English: A Written Conversation Analysis of a Bilingual Speaker	Krishan KUMAR	長崎外国語大学 長崎外大論叢 17 (13.12)	268
Issues Affecting Second Language (L2) Learning Students of Academic Writing	Anthony Brian GALLAGHER	名古屋外国語大学外国語学部 紀要 44 (13.2)	274
英語を母語とする教員と学生による日本人英語音声の評価 ―グループ間に見られる評価視点の違いに関する考察―	荒木伸之平石順長城哲哉	名古屋学院大学論集 言語・文化篇 24-2 (13.3)	285
Possible Influence of the Introduction of English Education to Elementary Schools on College Students'Mentality	Reiko Kachi	名古屋学院大学論集 言語・文化篇 25-1 (13.3)	293
タスクの定義に基づいたペア・ワークのコミュニケーション能力向上への有効性	飯尾晃宏	名古屋学院大学大学院外国語学論集 13 (12.3)	298
Transfer of Cohesive Devices by Japanese Students	KAMIMURA Nobuko	名古屋学院大学大学院外国語学論集 14 (13.3)	309
意味に重点を置いた言語産出活動につながる英文法指導 —単純過去形習得に焦点を当てて—	樋口晶子	名古屋学院大学大学院外国語学論集 14 (13.3)	316
日本の英語教育について(その1)	榎 本 喜 夫	名古屋短期大学研究紀要 51 (13.3)	328
Action research for skills integration in middle school English education: Continuous adaptations of course book materials to reflect the new syllabus guidelines	Akiko Yagi	南山大学大学院 南山言語科学 8 (13.3)	330
Promoting English Literacy for Young Learners in Japan through International Exchange	Junko YAMAMOTO	新潟経営大学紀要 19 (13.3)	340

文法訳読は本当に「使えない」のか?	杉 山 幸 子	日本英語英文学会 日本英語英文学 23 (13.12)	347
A Registerial Study of Reporting and Exploring Text Types in Japanese, Chinese and English	Sonya Chik	日本機能言語学会 PROCEEDINGS OF JASFL 7 (13. 10)	359
英語母語話者による日本語名詞の複数形の産出について 一英語と日本語の複数認識のずれ一	三 井 さや花	日本語教育学会 日本語教育 154 (13.4)	***
The Effects of Extensive Reading on Japanese University EFL Learners: 30-Minute In-Class Reading	KATO Kazue	日本大学経済学部 研究紀要 一般教育・外国語・ 保健体育 69 (12.1)	366
Simplifying the teaching of articles (a, an, the) to the Japanese English Language Learner	Paul A. R. ROWAN	日本大学国際関係学部 国際関係研究 33-2 (13. 2)	374
Issues in Second Language Acquisition: Can strategic competence be taught in the language classroom?	Richard Caraker	日本大学文理学部人文科学研究所 研究紀要 84 (12.9)	378
Teaching English as a Global Language —Pedagogical Issues in a Japanese University Context—	Harumi Ota	日本大学法学部 桜文論叢 85 (13.9)	384
多読教材としての『ロビンソン・クルーソー』 —Graded Readersのテクスト分析—	佐藤和哉	日本女子大学 紀要 文学部 62 (13.3)	396
日本語発話の解釈: CMM理論の日英通訳指導への応用	新崎隆子石黒弓美子	日本通訳翻訳学会 通訳翻訳研究 12 (12.12)	406
A Comparison between a 'Grammar Translation' type lesson and a 'Discovery C-R type' lesson	Gerry McLELLAN	人間環境大学 人間と環境 4 (13.11)	415
外国語学習がもたらす可能性について:自己、モティベーション、ビリーフ	鈴 木 栄	白鴎大学論集 27-2 (13.3)	424
より良い学習英文法の構築に向けて 一階層構造に着目して一	高橋 保 夫	函館英語英文学会 函館英文学 51 (12.6)	437
Teaching Connected Speech and High School English Education in Japan	KODERA, Masahiro	阪南大学 阪南論集 人文・自然科学編 47-2 (12.3)	442
What Causes Difficulties in Listening Comprehension for Japanese Learners of English	Kodera, Masahiro	阪南大学 阪南論集 人文・自然科学編 48-2 (13.3)	452
Extreme Vocabulary Teaching: The Plan That Failed	Martin B.Bonar	阪南大学 阪南論集 人文・自然科学編 48-2 (13.3)	462
英文を語学的に読む 一読みの指導を深めるために―	金 野 伸 雄	比治山大学現代文化学部紀要 19 (13.3)	472
Have the Changes Made to the TOEIC Caused Any Differences in the Ways It Assesses Test Takers' English Language Abilities?	Brian D. Bresnihan	兵庫県立大学 人文論集 48 (13.3)	477

(47-6 増)

ニホン英語(Open Japanese)の類型化研究(語順編)	末 延 岑 生	兵庫県立大学 人文論集 48 (13.3)	494
小学校英語テキスト再検討 ―中国とタイの英語教科書に学んで―	上 西 幸 治	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育 研究 16 (13.3)	508
日本人中学生の英語「談話能力」に関する考察(1) 一中学生はどの程度「一貫性」を 理解・意識できるか—	達川奎三	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育 研究 16 (13.3)	519
日本人英語学習者のエッセイに見られる共起表現の分析	阪 上 辰 也	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育 研究 16 (13.3)	530
外国語活動の指導に求められる英語運用能力向上のための試み —英語スピーチ練習の可能性—	松宮奈賀子	広島大学大学院教育学研究科紀要 第1部 学習開発関連領域 62 (13.12)	536
英文法指導での例文に対する学習者・教員の意識調査研究	中住幸治	広島大学大学院教育学研究科紀要 第2部 文化教育開発関連領域 62 (13.12)	540
英語を母語とする日本語学習者の誤解場面における言語的対応	畑佐由紀子	広島大学大学院教育学研究科紀要 第2部 文化教育開発関連領域 62 (13.12)	545
日商ビジネス英語検定試験の現状と課題 一貿易立国の立場から―	関 根 幸 雄	広島修道大学学術交流センター 修道商学 54-1 (13.9)	549
Fostering Voice and Rhetoric in L2 Writing	Annie Semmelroth	広島文教女子大学紀要 47 (12.12)	557
Researching the Effect of Students' Self-Selected Topics on Writing Fluency	Daniel Ferreira	フェリス女学院大学文学部紀要 48 (13.3)	561
Researching the Effect of Students' Self-Selected Topics on Writing Fluency Transcription: A Tool in Aiding EFL Communication	Daniel Ferreira Sorrell Yue	フェリス女学院大学文学部紀要 48 (13.3) 福岡大学人文論叢 45-1・2 (13.9)	561 566
Transcription: A Tool in Aiding EFL Communication	Sorrell Yue	福岡大学人文論叢 45-1・2 (13.9)	566
Transcription: A Tool in Aiding EFL Communication Teaching and Learning Vocabulary	Sorrell Yue Dominic Marini MATSUURA	福岡大学人文論叢 45-1·2 (13.9) 福岡国際大学紀要 29 (13.3)	566 574
Transcription: A Tool in Aiding EFL Communication Teaching and Learning Vocabulary Japanese Learners' Evaluative Reactions and Affective Responses toward English Accents	Sorrell Yue Dominic Marini MATSUURA Hiroko Felicity	福岡大学人文論叢 45-1·2 (13.9) 福岡国際大学紀要 29 (13.3) 福島大学経済学会 商学論集 80-4 (12.3)	566 574 580
Transcription: A Tool in Aiding EFL Communication Teaching and Learning Vocabulary Japanese Learners' Evaluative Reactions and Affective Responses toward English Accents Lyrics of Place in L2 Cultural Studies	Sorrell Yue Dominic Marini MATSUURA Hiroko Felicity Greenland VASILJEVIC,	福岡大学人文論叢 45-1·2 (13.9) 福岡国際大学紀要 29 (13.3) 福島大学経済学会 商学論集 80-4 (12.3) 佛教大学 文学部論集 97 (13.3)	566 574 580 587

(47-6 増)				45
A Corpus-based Investigation of Syntactic Complexi Sentence Development in L2 Genre Writing	ity, Fluency, Sentence Variety, and	Nicolai Struc Nicholas Wood	麗澤大学紀要 93 (11.12)	754
You are a vision.		渡 邊 信	麗澤大学英米文化研究会 麗澤レヴュー 19 (13.6)	748
Japanese Fifth and Sixth Grade students' Vocabulary with the Awareness of Letter-Sound Correspondence		Waka Koshiba	立命館大学大学院 Studies in language science 3 (13.3)	735
無標、有標の言語学:外国語教育への応用		大 橋 克 洋	立命館アジア太平洋大学 ポリグロシア 24 (13.3)	729
英語教育100の基本(その1)		大 塚 巌	立正大学大学院紀要 29 (13.3)	***
The impact of the increasing use of English as a ling for Business Purposes	ua franca on the teaching of English	Ryan Peters	立教女学院短期大学紀要 44 (13.2)	***
Implementing business English writing activities in I	L2 classrooms	William Kevin Penny	横浜市立大学論叢 人文科学系列 65-1 (13.12)	706
A task-based case study of student error patterns in v	vritten English	William Kevin Penny	横浜市立大学論叢 人文科学系列 64-2 (13.3)	689
Graded readers and graded reader report instruction	in Practical ENGLISH II	Jeremiah Dutch	横浜市立大学論叢 人文科学系列 64-2 (13.3)	678
英文訓読が拓いたもの		藤本幸伸	山口大学教育学部 研究論叢 62-1·2 (13.1)	673
英語教育と英語史		横山利夫	山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告 40 (13.3)	669
話し言葉の活用に向けて:大学における英語ライテ	ィング指導の場合	林 弘美	明治薬科大学研究紀要 人文科学・社会科学 42 (12.12)	665
Global Grammar: Successes and Failures in the Inter Animation Production Part 1: Case Study of TMS En		Renato RIVERA RUSCA	明治大学教養論集 476 (12.1)	652
対照分析の観点からの英語学習における中国語話者	の誤用分析	小山田 幸 永	明海大学 Journal of Hospitality and Tourism 8-1 (12. 12)	649
Pedagogy of the English Present Perfect Tense in the	e Japanese ESL Classroom	JACOB SCHERE	明海大学 Journal of Hospitality and Tourism 8-1 (12. 12)	645
The Introduction of Japanese Primary School English of Assistant Language Teachers	h Texts: Impressions and Reflections	Harry F. Carley III	松山大学 言語文化研究 33-1 (13.9)	636
Using Narrative Film in Second Language Acquisition	on: A Cross-Disciplinary Approach	Denis QUINN	北海道文教大学論集 14 (13.3)	632

日本人英語学習者における5タイプのスペリングテスト比較: 音と文字の対応規則に 注目した予備的研究	髙 波 幸 代	麗澤大学紀要 93 (11.12)	772
A Trial to Activate the Learning of Speech Acts and Politeness in the Cyber Cross-Cultural Communication: An Intersection of Japanese and Chinese through English	Toshihiko SUZUKI	早稲田商学同攻会 文化論集 41・42 (13.3)	784
Effects of Reading Mode, Proficiency and Importance of Text Information on EFL Reading Comprehension	藤永史尚	早稲田実業 早実研究紀要 47 (13.3)	796

***・・・・著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

英語学論説資料 第47号

収録論文一覧

2015年6月30日発行 東京都板橋区向原3-10-2 論 説 資 料 保 存 会 代表者 常 盤 浩 行

英語学論説資料第47号発行日第1分冊2015年6月30日第2分冊2015年6月30日第3分冊2015年6月30日第4分冊2015年6月30日第5分冊2015年6月30日

2015年6月30日

第6分冊